

I 庶務報告

(1) 会員の異動状況

	2025年2月現在	2024年2月末	増減
名誉会員	53名	43名	+10
特別会員	7名	7名	±0
賛助会員	26社	27社	-1
正会員	5,742名	5,617名	+125
入会	正230名		
退会	正90名 (含会費滞納自動退会20名)		

物故会員(五十音順)-敬称略-

国内名誉会員 きまた よしひろ
木股 敬裕

正会員 いはらだ れい 居原田 麗 かしわ 柏 かつひこ 克彦 さとう としあき 佐藤 俊昭 すぎもと たかお 杉本 孝郎
すずき ひろゆき 鈴木 啓之 とみつか けんいち 富塚 謙一 にった まさあき 新田 匡章 もりや しゅうじ 守屋 修二
やの もとい 矢野 基 よしたつ もとお 吉龍 資雄 よしだ しげのり 吉田 重則

(以上 12名)

(2) 会議に関する事項

1. 理事会

2024年度第1回 2024年7月31日(水)

AP品川アネックス 1F 『Q Room』 + Zoom

- 議 事
1. 前回議事録確認の件
 2. 第33回基礎学術集会の件
 3. 第68回総会・学術集会の件
 4. 第34回基礎学術集会の件
 5. 2024年度各種委員会活動方針の件
 6. 各種委員会審議の件

7. 各種委員会報告の件
8. 会費滞納者に関する件
9. 新入会員・退会会員の件
10. その他

2024年度第2回 2024年10月16日(水)

ヒルトン東京お台場 3F 『オーキッドルーム』 +Zoom

- 議 事
1. 前回議事録確認の件
 2. 第33回基礎学術集会の件
 3. 第68回総会・学術集会の件
 4. 第34回基礎学術集会の件
 5. 第67回総会・学術集会会計報告の件
 6. 2024年度会計中間報告の件
 7. 各種委員会報告の件
 8. 各種委員会審議の件
 9. 新入会員・退会会員の件
 10. その他

2024年度第3回 2025年2月14日(金)

A P品川 8階「Aルーム」 +Zoom

- 議 事
1. 前回議事録確認の件
 2. 第33回基礎学術集会会計報告の件
 3. 第68回総会・学術集会の件
 4. 第34回基礎学術集会の件
 5. 第69回総会・学術集会の件
 6. 評議員選挙結果報告の件
 7. 2024年度収支見込決算ならびに2025年度予算大綱の件
 8. 各種委員会報告の件
 9. 各種委員会審議の件
 10. 名誉会員推戴に関する件
 11. 会長立候補者に関する件
 12. 理事・監事立候補者に関する件
 13. 理事長指名議員に関する件
 14. 会費滞納に関する件
 15. 新入会員・退会会員の件
 16. CSTに関する調査特別委員会報告
 17. その他

2024年度第1回常務理事会 2025年3月7日(金)

Zoom

- 議 事
1. 学会賞役員投票結果について
 2. 名誉会員推戴について
 3. 2024年度決算報告ならびに2025年度予算案について
 4. その他

2024年度第1回臨時理事会 2025年3月13日(木)

Zoom

2024年度第2回臨時理事会 2025年3月31日(月)

Zoom

2024年度第4回 2025年4月15日(火)

ホテルニューオータニ ザ・メイン 宴会場階 AZALEA アッサレーア

- 議 事
1. 前回議事録・議事要録確認の件
 2. 第68回総会・学術集会の件
 3. 第69回総会・学術集会の件
 4. 第70回総会・学術集会の件
 5. 第34回基礎学術集会の件
 6. 第35回基礎学術集会の件
 7. 第36回基礎学術集会の件
 8. 日韓形成外科学会の件
 9. 2024年度会計決算報告ならびに2025年度予算案の件
 10. 各種委員会報告の件
 11. 名誉会員推戴に関する件
 12. 選挙管理委員会選出の件
 13. 会費滞納に関する件
 14. 新入会員・退会会員の件
 15. その他

2. 社員総会 (評議員会)

2024年度定時社員総会 2024年4月9日(火)

神戸ポートピアホテル南館 B1F 「トパーズ」

- 議 事
1. 2023年度年次報告の件
 2. 2023年度収支決算の件
 3. 2024年度事業計画の件
 4. 2024年度収支予算の件

5. 名誉会員推戴の件
6. 第 67 回総会・学術集会の件
7. 第 68 回(次期)総会・学術集会の件
8. 第 69 回(次々期)総会・学術集会の件
9. 第 70 回(次々々期)総会・学術集会 会長候補者選出の件
10. 第 33 回基礎学術集会の件
11. 第 34 回(次期)基礎学術集会の件
12. 第 35 回(次々期)基礎学術集会の件
13. 第 36 回(次々々期)基礎学術集会 会長候補者選出の件
14. 日韓形成外科学会の件
15. 細則等変更の件
16. 会費滞納者の件
17. 評議員提出議題の件
18. 定款変更の件
19. その他

3. 会 員 総 会

2024年度会員総会 2024年4月11日(木)

神戸国際会議場 1階「メインホール (第1会場)」

- | | |
|-----|---|
| 議 事 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 2023 年度年次報告の件 2. 2023 年度収支決算の件 3. 2024 年度事業計画の件 4. 2024 年度収支予算の件 5. 名誉会員承認の件 6. 第 67 回総会・学術集会の件 7. 第 68 回(次期)総会・学術集会の件 8. 第 69 回(次々期)総会・学術集会の件 9. 第 70 回(次々々期)総会・学術集会 会長報告 10. 第 33 回基礎学術集会の件 11. 第 34 回(次期)基礎学術集会の件 12. 第 35 回(次々期)基礎学術集会の件 13. 第 36 回(次々々期)基礎学術集会 会長報告 14. 日韓形成外科学会の件 15. 定款及び細則等変更の件 16. 会費滞納者の件 17. 評議員提出議題の件 18. その他 |
|-----|---|

II 事業報告

(1) 第67回日本形成外科学会総会・学術集会

会期：2024年4月10日(水)、11日(木)、12日(金)

会場：神戸国際会議場・神戸ポートピアホテル

会長：寺師 浩人(神戸大学大学院医学研究科 形成外科学)

特別講演、教育講演、共通講習、一般演題、International Session、シンポジウム、委員会企画、教育セミナー等が行われた。

(2) 第33回日本形成外科学会基礎学術集会

会期：2024年10月17日(木)、18日(金)

会場：ヒルトン東京お台場

会長：吉村 浩太郎(自治医科大学形成外科学講座)

特別講演、教育講演、シンポジウム、International Session、共催セミナー、一般演題等が行われた。

(3) 日本形成外科学会誌を編集・発行した。

第44巻2号	2024年 2月	55頁	5,550部
第44巻3号	2024年 3月	50頁	5,700部
第44巻4号	2024年 4月	53頁	5,750部
第44巻5号	2024年 5月	51頁	5,770部
第44巻6号	2024年 6月	50頁	5,790部
第44巻7号	2024年 7月	47頁	5,800部
第44巻8号	2024年 8月	48頁	5,800部
第44巻9号	2024年 9月	64頁	5,820部
第44巻10号	2024年10月	75頁	5,820部
第44巻11号	2024年11月	80頁	5,820部
第44巻12号	2024年12月	70頁	5,840部
第45巻1号	2025年 1月	41頁	5,820部

(4) 春季学術講習会及び秋季学術講習会を下記のとおり開催した。

1. 春季学術講習会 (Eラーニング配信)

日時：2024年4月10日(水) 10:00~2024年10月16日(水)

会場：会員マイページEラーニングサイト上

題目および講師

テーマ：『四肢の再建外科』

1) 「切断肢指」

新東京病院形成外科 柳林 聡

2) 「筋・腱・靭帯損傷」

仙台医療センター形成外科手外科 鳥谷部 荘八

3) 「血管・神経損傷（含むコンパートメント症候群。切断指を除く）」

関西電力病院形成外科 松末 武雄

4) 「軟部組織欠損（再建）」

九州大学形成外科 上 菌 健一

2. 秋季学術講習会（Eラーニング配信）

日 時：2024年10月18日(木) 10:00～2025年4月15日(火)

会 場：会員マイページEラーニングサイト上

題目および講師

テーマ：『皮膚軟部腫瘍の治療～薬物治療も含めて』

1) 「神経線維腫症の診断と治療」

京都大学形成外科 坂本 道治

2) 「低流速脈管奇形（静脈奇形，リンパ管奇形）の診断と治療」

北海道大学形成外科 石川 耕資

3) 「高流速脈管奇形，乳児血管腫・その他の血管性腫瘍の診断と治療」

神戸大学形成外科 野村 正

4) 「有棘細胞癌，メラノーマの診断と治療」

国立鹿児島医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科 青木 恵美

(5) 皮膚腫瘍外科分野指導医教育セミナーを下記のとおり開催した。

1. 2024年度第28回教育セミナー

日 時：2024年4月11日(木)

会 場：神戸国際会議場 第5会場

題目および講師

1) 皮膚リンパ流の特徴と臨床応用

旭川医科大学 形成外科 林 利彦

2) 臨床診断と病理診断-より正確な診断を目指して-

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 森 秀樹

2. 2024年度第29回教育セミナー

日 時：2024年10月18日(金)

会 場：ヒルトン東京お台場 第5会場

題目および講師

1) 最新の皮膚悪性腫瘍治療指針：NCCN・皮膚悪性腫瘍診療ガイドラインを読み解く

北海道大学医学部形成外科 前田 拓

2) 会陰部皮膚悪性腫瘍後広範欠損に対する再建のストラテジー

群馬大学医学部附属病院 形成外科 牧口 貴哉

(6) 小児形成外科分野指導医教育セミナーを下記のとおり開催した。

1. 2024年度第13回教育セミナー

日 時：2024年4月10日(水)

会 場：神戸国際会議場 第4会場

題目および講師

1) NF1 の病態理解と分子標的薬による治療

慶應義塾大学医学部小児科学教室 武内 俊樹

2) 叢状神経線維腫に対する MDT 診療の重要性

名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション科 西田 佳弘

2. 2024年度第14回教育セミナー

日 時：2024年10月17日(木)

会 場：ヒルトン東京お台場 第5会場

題目および講師

総テーマ：『小児クラニオ治療における診断から治療まで』

1) クラニオフェイシャルサージェリーの基礎～頭蓋縫合早期癒合を中心に～

大阪市立総合医療センター形成外科 坂原 大亮

2) 頭蓋縫合早期癒合症の分子機構と神経発達

慶應義塾大学医学部小児科学教室 武内 俊樹

(7) 再建・マイクロサージャリー分野指導医教育セミナーを下記のとおり開催した。

1. 2024年度第10回教育セミナー

日 時：2024年4月11日(木)

会 場：神戸国際会議場 第4会場

題目および講師

1) 「切断指再接着の基本知識と生着率向上への要点」

自治医科大学附属さいたま医療センター形成外科 山本 直人

2) 「皮膚腫瘍切除後の再建-形成外科で切除から再建まで完投する場合の tips -」

山口大学医学部附属病院形成外科 高須 啓之

2. 2024年度第11回教育セミナー

日 時：2024年10月18日(金)

会 場：ヒルトン東京お台場 第5会場

題目および講師

1) 下顎再建を行うための基礎知識

旭川医科大学 形成・再建外科学講座 林 利彦

2) 形成外科医が知っておくべき重度四肢外傷

仙台医療センター形成外科手外科東北ハンドサージャリーセンター 鳥谷部 荘八

(8) レーザー分野指導医教育セミナーを下記のとおり開催した。

1. 2024年度第5回教育セミナー

日 時：2024年4月12日(金)

会 場：神戸国際会議場 第5会場

題目および講師

1) レーザー基礎

新潟大学 形成外科 若槻 華子

2) 毛細血管奇形に対する標準的色素レーザー治療

愛知医科大学 形成外科 古川 洋志

2. 2024年度第6回教育セミナー

日 時：2024年10月18日(金)

会 場：ヒルトン東京お台場 第5会場

題目および講師

1) レーザー基礎

新潟大学形成外科 若槻 華子

2) レーザー臨床

大城クリニック 大城 貴史

(9) 乳房増大用エキスパンダー/インプラント講習会を下記のとおり開催した。

2024年度講習会

会 場：WEB

題目および講師

1) 使用要件基準（ガイドライン）の概略

東京医科歯科大学 形成・再建外科学分野 森 弘樹

2) 製品紹介およびインフォームドコンセントについて

アラガン・ジャパン株式会社

3) Sientra ブレスト・インプラント 製品説明

ゲンゼメディカル株式会社

4) Motiva（モティバ）ブレスト・インプラント 製品説明

PRSS. Japan 株式会社

5) 外傷・先天異常に対する使用と BIA-ALCL の概略

杏林大学医学部 形成外科 白石 知大

6) 乳房増大術

医療法人ガクト会 ナグモクリニック大阪 丹羽 幸司

(10) 日本形成外科学会専門医の審査を専門医認定委員会において行った。

2024年度専門医合格者氏名(50音順敬称略)

相神 なほ	青木 優季	赤木健一郎	秋篠 宏介	秋元 柁人
阿部絵里香	阿部 桃子	家村 真実	生島 健太	石原 千尋
板橋 由己	伊丹さやか	市川 千洋	井上 晴太	今井 洋文
今村 駿	岩澤 慧	上野 麻由	江崎 聖美	海老沢武志
遠藤 春夏	尾上 貴紀	大滝真由子	大地 洋輔	大山 葵
岡村友保子	岡本 笑奈	奥 陽平	尾崎 里沙	小原 慎一
加賀美聡子	葛西沙弥佳	柏木瞭一郎	片山 陸	勝連今日子
河合 恵	川北 萌乃	川口謙太郎	川口 玄	河瀬 弘代
川野 貴大	菊池 晴香	北中涼太郎	木原 健仁	木村 浩二
金 智優	草場 啓彰	草間 峻	楠田 千佳	葛原奈津美
倉田まりな	栗山 修平	小泉 恵	上月 志乃	小島 宏美
小林 大吾	西條 優作	酒井 梨穂	作道 善行	佐藤 愛
佐藤 純輝	佐野 太郎	澤井祐美加	正田 晃基	渋谷 健
清水 文華	杉山 優弥	鈴木 暁	副島 直人	曾和 幹
高田明日香	高月 陽介	田草川あおは	竹内 優	竹内 璃子
竹江 雄貴	立津 朝成	田中 萌実	谷 ありさ	谷口 悠
辻本 悠貴	津田愛梨香	鄭 和卿	寺重 千明	出口 大
仲尾 航	中川 栄治	中嶋ひかり	中嶋麻有里	中村万由子
中谷 元	永井 啓太	長坂 優香	永塚 大樹	永廣 楓
南都 賢宣	西岡 嶺	野崎 布世	野間口磨篤	箱崎 茉衣
橋田 弘鈴	橋本 昌也	幡手亜梨子	花田 隼登	濱崎 七海
比嘉 理圭	東本 究仁	東山 明未	久富健太郎	平井恒太郎
平石 瞳美	平岡 由愛	福士彩記子	福田 太郎	福田麻衣美
福村 崇	藤田真亜子	藤土 光	藤原 文麗	古川 航多
古川 惣一	古木 遥	白 夏林	米谷 公佑	牧 希光枝
牧野 莉央	松浦 麻里	松田由佳利	松浪 周平	松本 大樹
松本奈緒恵	三浦 莉理	溝渕 亮	三井 康平	宮崎 詩織
宮澤 美昂	宮下 采子	宮田佑里恵	三山 彩	宮前 俊司
向井 桜子	村上 響一	村上 太志	村上 朋子	村上 方美
森 隆裕	森山 柁純	矢内 香織	安田 圭	矢野 舞
山口 華	山住 彩織	山田 淳生	山本 寛也	油井佐恵子
横山 卓司	吉住 航	吉武 彰子	吉武 貴士	吉田 大作
若崎 昭太	若林 奈央	渡邊 晶子	渡邊 陽平	渡部 将伍
和田 遥				合計166名

(11) 研修プログラムの審査を認定施設認定委員会において行った。

2024年度新規プログラム基幹施設名

【地区】

【施設名】

中 部

金沢大学附属病院形成外科

(12) 日本形成外科学会専門医更新を専門医生涯教育委員会において行った。

A) 2024年度日本専門医機構専門医更新申請合格者氏名

(50音順敬称略)

會沢 哲士	相原 英雄	相原 正記	饗場恵美子	青木 宏信
青山 亮介	赤石 渉	赤澤 俊文	赤松 順	赤松 正
秋岡 二郎	秋田 梨恵	秋山 太	浅井 晶子	浅香 明紀
朝戸 裕貴	安里 令子	朝村 真一	朝本 有紀	東 隆一
阿部浩一郎	綾部 忍	新井 清信	新城 憲	荒牧 典子
安楽 邦明	飯島 三佳	飯沼 義博	伊木 秀郎	伊師 森葉
石井 美夏	石井 義輝	石川 耕資	石川奈美子	石川 浩一
石垣 剛正	石黒 匡史	石原 博史	泉 彰典	出雲崎亜紀子
伊谷 善仁	板野 佑生	市田 祐之	一瀬 正治	伊藤 秀憲
伊東 大	伊東 優	伊藤 靖浩	犬飼 麻妃	大塚 潔
伊能 和彦	井上 温子	井上 普文	井上要二郎	今井 啓介
今井 智浩	今井 由典	今井 啓道	今西 宣晶	巖 文哉
岩川さおり	岩崎 秀樹	岩崎 理恵	岩澤 幹直	岩城 啓修
岩平 佳子	岩本 承豪	岩本 昌熙	于 あかね	宇井 啓人
植木 翔也	植木 孝典	上田 晃一	上田 百蔵	上田 吉生
上野 佐知	上原 恵理	上原 英衣	上原 理恵	植村富美子
上山 菜穂	宇佐美泰徳	牛尾 茂子	宇田 宏一	内田 悠記
内沼 栄樹	梅田 直人	浦邊亮太郎	漆館 聡志	海野 早織
江頭 通弘	江川 智昭	江藤 綾乃	江藤 久志	榎 栄治
江野尻竜樹	江花 梨沙	蛭沢 克己	呉 アンナ	扇 博之
大芦 孝平	大江 恵	大川 勝正	大垣 祥子	大口 雄也
大崎 政海	大澤 栄作	大島 秀男	大嶋美喜子	大城 貴史
大慈弥裕之	大須賀啓記	太田 勝哉	太田 智之	太田 洋美
太田 真澄	大谷 一弘	大谷 秀和	大槻 眞澄	大西 智子
大宮 由香	大森喜太郎	大守 誠	大谷津恭之	岡 愛子
岡崎 睦	岡田真衣子	岡田 ゆき	岡村 俊哉	岡本 茉希
緒方 寿夫	小川 和也	小川 興	小川 晴生	小川祐一郎
荻野 浩希	奥田 貴久	奥田 良三	奥野 友孝	奥村 千香
小倉亜紗子	小椋 哲実	小田祐美子	小野 真平	小野 昌史

小山 明彦	小山田基子	開田恵理子	加賀谷 優	香川 久香
加来知恵美	柏木 圭介	梶川 明義	加治佐卓也	片岡 和哉
片桐 順和	加藤 達也	加藤 剛志	加藤 敏次	嘉鳥 信忠
金崎 茉耶	金澤 浩之	金本 侑子	金山 岳夫	金子 剛
上林 淑人	神谷 則昭	加茂 理英	加茂川留理	加持 秀明
苅部 綾香	川崎 裕史	河田 牧男	河田 真作	川手 浩史
川那部岳志	河野 克之	川原 絢子	川端 優也	川本 幸司
河原崎彩子	姜 成樹	神戸 優子	久徳 美樹	橘田絵里香
菊地 憲明	菊池 雄二	貴志 和生	岸 陽子	北澤 健
北辻 まき	北原 正樹	北村 成紀	北村 孝	木塚雄一郎
木野 紘美	木下 浩二	木下 雅人	金 大志	木村 得尚
木村 勇亮	清川 兼輔	許田 和義	吉良 舞	草田理恵子
楠本 健司	工藤 宏之	久保 和之	久保 諭	倉地 彩奈
倉元有木子	栗田 昌和	栗原 健	畔 熱行	黒川 憲史
黒川 正人	黒木 知明	黒沢 是之	黒住 望	黒田 一也
桑原 愛子	桑原 理充	郡司 裕則	小泉 拓也	古泉 佳男
光嶋 勲	幸地茉莉子	小暮 知子	木暮 倫久	小坂 義樹
小島 正裕	小菌喜久夫	小平 聡	兒玉 浩希	此枝 央人
小林誠一郎	小林 正弘	小宮 貴子	小宗 弘幸	小屋 和子
近藤加代子	近藤 方彰	今野 宗昭	権東 容秀	権藤 理絵
最所 裕司	齊藤 篤志	齊藤 計太	齋藤 隆文	齋藤 俊寛
斉藤 浩	齋藤 昌美	齋藤百合子	佐伯 典道	坂井 重信
酒井 成身	酒井 直彦	酒井 倫明	坂井 靖夫	栄 由貴
坂上 陽彦	阪野 一世	坂本奈津紀	櫻井 淳	櫻庭 実
佐々木 薫	佐々木克己	佐々木晴恵	佐次田保徳	佐藤 薫
佐藤克二郎	佐藤 佳世	佐藤 大介	佐藤 千草	佐藤 誠
佐藤 真嘉	庄野 佳孝	塩沢 啓	鹿野 雄介	茂木 定之
重原 岳雄	重吉 直哉	設楽 幸伸	柴田 実	澁谷 博美
渋谷陽一郎	島倉 康人	島田 良浩	島中 弘輔	島本 良子
清水 梓	清水 和輝	清水 サウ	清水 隆司	下村実貴子
下山 真実	白石 知大	白壁 理志	新濱 明彦	新家佳代子
神野 千鶴	末延 耕作	須貝明日香	菅野 弘之	菅谷 文彦
梶谷 正子	杉野 宏子	杉本 香	杉山 敦樹	須澤由希子
鈴木 彩子	鈴木 収二	鈴木 茂彦	鈴木 敏彦	鈴木 肇
鈴木 偉彦	鈴木 良典	進來 墨	須田 俊一	須田 徹也
須藤 大雅	住永莉華子	陶山 淑子	関 征央	瀬崎 伸一
袖井 文二	素輪 善弘	高木 誠司	高木 正	高倉真由佳
高田 温行	高梨 遼	高成 啓介	高野 淳治	高野 敏郎
高橋 猛	高橋 誠	高橋美有生	高松 亜子	滝 建志
滝 正	竹内 章晃	武内 嵩幸	武田 啓	武田 昇

竹中 由衣	竹本 剛司	田崎 幸博	多田 英之	辰田 紗世
田中 文	田中 一郎	田中 和行	田中 克己	田中 真輔
田中 直樹	田中 義人	田中 里佳	田辺 敦子	谷口小百合
谷口 靖	谷平 茂	田場 史子	玉井 求宜	田牧 聡志
玉野井慶彦	田村 明美	田村 聡	丹代 功	醍醐 佳代
太宰 聖志	千明 美保	千葉 容子	塚越 卓	塚本 歩
月野 暁彦	柘植 琢哉	津田 智子	堤田 新	角田 祐衣
手塚 敬	手塚 崇文	寺部 雄太	寺村あずみ	東堂 暢子
時岡 一幸	戸島 康晴	戸田 千綾	戸田 直歩	戸田 則之
留守 祥子	内藤 素子	中尾 沙良	中尾 崇	中岡 啓喜
中川 達裕	中川 雅裕	中北 信昭	中島聖李奈	中島 弓子
中島 順子	中園美紗子	中田 元子	中西 秀樹	中野 憲一
中野 基	中林 洋平	中村 英子	中村加奈恵	永尾 光一
長尾 聖子	長岡麻理子	長島 史明	永田亜矢子	永松 将吾
成田 圭吾	西 建剛	西尾 祐美	西平 智和	西村 剛三
西本あか奈	塗 隆志	野一色千景	野瀬 京子	野瀬 謙介
野田 理香	信國 里沙	野町 健	野村 智史	野村 正
野村 紘史	野本 猛美	服部こずえ	橋川 和信	橋本 一輝
橋本 二郎	橋本 隆宏	橋本 信子	長谷川晶子	長谷川 隆
長谷川時生	波田野智架	波床 光男	花垣 博史	華山 博美
濱口 雅光	浜崎多美子	濱田 龍正	早川 宏司	林 礼人
林 大海	林 利彦	林 寛子	林 奈津子	林 菜穂子
林 雅裕	林 みどり	林 祐司	原 順子	原 直紀
原 陽一郎	原島 要人	春成 伸之	伴 政雄	坂東 行洋
東 晃史	東山 玲子	樋口 浩文	樋口 良平	彦坂 信
樋上 敦	平井 隆	平井 優樹	平井林太郎	平瀬 雄一
平田 晶子	平野 明喜	平野 成彦	廣田 友香	備前 篤
深水 秀一	福井 剛志	福嶋 佳純	福島 淳一	福嶋 晴太
福壽阿沙子	福田 康裕	福積 聡	福屋 安彦	藤井 暁
藤井俊一郎	藤井 貴子	藤岡 正樹	藤岡 弓朗	藤澤 大輔
藤田 研也	藤田 純美	藤林 久輝	藤森 靖	藤山 浩
藤原 修	藤原 一人	藤原 貴史	藤原 敏宏	藤原 雅雄
舟山 恵美	古市 浩美	古屋 恵美	夫 一龍	芳原 聖司
保阪 善昭	星野 恭子	星野 善允	細見 謙登	堀尾 修
堀米 迪生	本庄 省五	本田 隆司	本間 賢一	本間 勉
本間 有貴	前川 絵美	前田 和彦	前田 健志	前田 千絵
牧口 貴哉	増井 裕子	益岡 弘	増田 竜児	松井 千裕
松尾あおい	松尾 琴美	松尾 伸二	松岡 伯	松崎 恭一
松下 博明	松下 友樹	松島 星夏	松島 貴志	松谷 崇弘
松田 和也	松田 健	松田 秀則	松本 吉郎	松本 健吾

松本 大輔	松本 文昭	間藤 尚美	眞鍋 幸嗣	眞鍋 剛
丸山 成一	丸山百合子	三上 太郎	三沢 尚弘	水上健之亮
水谷 健人	水野 清行	水野 寿子	水野 博司	三川 信之
御任 大輔	皆川 浩	皆川 知広	峯 友梨	身原 弘哉
美原 留奈	三宅 省吾	三宅ヨシカズ	宮里 修	宮下 協二
宮下 哲	宮島 哲	宮田 剛治	宮田 成章	宮田弥千代
宮永 亨	宮野竜太郎	宮本 博子	宮本 洋	迎 伸彦
向田 雅司	武藤 真由	村尾 尚規	村上富美子	村澤 章子
村下 一晃	村田八千穂	室 孝明	望月 靖史	望月 祐一
樫山 真紀	百澤 明	森 浩	森内 由季	森下 恵里
森下 剛	森田 耕輔	森山 和の	森脇 綾	矢口貴一郎
矢澤 真樹	安井 浩司	安形 省吾	安田紗緒里	安田 浩
安田 路規	矢高 森人	矢永 博子	柳澤 明宏	柳澤 正之
矢野 健二	矢野 浩規	山内 俊彦	山口 智彦	山崎 裕行
山崎 俊	山崎 民雅	山下 明子	山城 薫	山田 潔
山田 信幸	山野 雅弘	山本 純	山本 博	山本 博
山本真寿美	山本眞由美	山本 康	山元 康德	山本 慶輝
山本 喜英	山脇 聖子	山脇 吉朗	弓削 俊彦	尹 庸
横井 克憲	横山統一郎	吉岡日香里	吉方 りえ	吉川 哲哉
吉澤 直樹	吉田 拓磨	芳田 辰也	吉牟田浩一郎	吉本 信也
依田 拓之	李 填鏞	李 陽成	力久 直昭	立 雅恵
若見 暁樹	早稲田豊美	渡部 功一	渡部 雅子	渡辺 頼勝
渡井 彩	和田 仁孝			以上657名

B) 日本形成外科学会専門医生涯教育細則第21条により専門医資格を取り消される者

青木 律	小原 宏之	川村 亮	齋藤 利香	澤泉 雅之
柴田 裕達	白川真紀子	杉本 一	高田 徹	中川 宏治
塙 陽子	平敷 貴也	松本 和也	安岡 裕司	矢部 哲司

以上15名

(13) 領域指導医の審査を指導医認定委員会において行った。

(a) 2024年度第1回領域指導医合格者氏名 (50音順敬称略)

足立 真実	一条 英里	海透 修子	勝部 元紀	門田 英輝
上藪 健一	川端 明子	児玉 卓也	佐藤 智也	佐藤 秀吉
杉本 佳香	坪井 憲司	長坂 信司	西村 祐紀	野守美千子
芳原 聖司	堀 圭二郎	松本 大輔	八木 献	矢野 浩規

以上 21名

(b) 2024年度第2回領域指導医合格者氏名 (50音順敬称略)

足立 恵理	井口 聖一	犬飼 麻妃	上田 晃一	内堀 貴文
木下 雅人	小久保健一	蔡 顯真	関 征央	高原 英作
辰田 紗世	東堂 暢子	徳元 秀樹	中川 雅裕	中西 崇詞
藤澤 興	森田 愛	山下 建	山城 利文	

以上 19名

(14) 皮膚腫瘍外科分野指導医の審査を皮膚腫瘍外科分野指導医認定委員会において行った。

2024年度皮膚腫瘍外科分野指導医合格者氏名（50音順敬称略）

足立 恵理	内堀 貴文	加藤 達也	駒越 翔	水藤 元武
玉野井慶彦	野村 健志	三浦 佑樹	山城 利文	吉岡日香里

以上 10名

(15) 皮膚腫瘍外科分野指導医の更新審査を皮膚腫瘍外科分野指導医認定委員会において行った。

2024年度皮膚腫瘍外科分野指導医更新者氏名（50音順敬称略）

會沢 哲士	青木 恵美	赤澤 俊文	東 隆一	後村 大祐
石瀬 久子	岩本 承豪	上原 幸	上原 理恵	大木 琴美
大澤 昌之	岡田 厚夫	小野 昌史	川上 善久	川端 明子
菊池 和希	北辻 まき	香西 達一	高地 崇	神山 圭史
近藤 謙司	五石 圭一	三枝 紀子	阪場 貴夫	佐藤 精一
佐藤 誠	篠山 美香	芝岡 美枝	素輪 善弘	竹本 剛司
丹代 功	時吉 貴宏	中川 嗣文	中島 順子	中道 美保
西川 大嗣	林 菜穂子	平田 晶子	増本 和之	南本 俊之
峯岸 芳樹	村尾 尚規	村松 英之	森 和歌子	森山 和の
八木俊路朗	矢澤 真樹	山路 佳久	山本 裕介	吉牟田浩一郎
吉田 哲也	渡邊 英孝	和田 仁孝		

以上 53名

(16) 小児形成外科分野指導医の審査を小児形成外科分野指導医認定委員会において行った。

2024年度小児形成外科分野指導医合格者氏名（50音順敬称略）

勝部 元紀	木野 紘美	藤澤 興	森田 愛
-------	-------	------	------

以上 4名

(17) 小児形成外科分野指導医の更新審査を小児形成外科分野指導医認定委員会において行った。

2024年度小児形成外科分野指導医合格者氏名（50音順敬称略）

荒川 篤宏	伊東 大	宇佐美泰徳	梅川 浩平	大江 恵
門田 英輝	桑田 知幸	権太 浩一	佐藤 孝道	志藤 宏計

竹内 章晃	谷 裕美子	手塚 崇文	富岡 容子	中川 嗣文
福積 聡	森 弘樹			以上 17名

(18) 再建・マイクロージャー分野指導医の審査を再建・マイクロージャー分野指導医認定委員会において行った。

2024年度再建・マイクロージャー分野指導医合格者氏名（50音順敬称略）

太田 智之	小野寺 文	景山 大輔	辛川 領	北口 陽平
近藤 暁	鹿野 雄介	水藤 元武	多賀麻里絵	玉野井 彦
中西 崇詞	東 晃史	藤澤 興	森 裕晃	森田 愛
山田真由香				以上 16名

(19) 再建・マイクロージャー分野指導医の更新審査を再建・マイクロージャー分野指導医認定委員会において行った。

2024年度再建・マイクロージャー分野指導医合格者氏名（50音順敬称略）

青 雅一	青木 久尚	赤澤 聡	秋田 新介	朝戸 裕貴
朝村 真一	東 隆一	安倍 吉郎	荒田 順	有川 真生
安楽 邦明	池田 実香	池野屋慎太郎	石井 直弘	石田 勝大
井田夕紀子	市岡 滋	一瀬 正治	伊東 大	稲見 浩平
犬塚 潔	井上 真一	井上要二郎	猪原 康司	今井 啓介
今井 智浩	今泉 督	今川孝太郎	岩尾 敦彦	岩谷 博篤
上原 幸	上村 哲司	宇佐美 聡	梅本 泰孝	漆館 聡志
江野尻竜樹	大河内裕美	大崎 健夫	大島 梓	大塚 尚治
大塚 守正	大槻 祐喜	大村奈々穂	大山 拓人	岡崎 睦
小川 令	荻野 晶弘	荻野 秀一	荻野 浩希	奥村 興
奥村 誠子	奥本 隆行	尾崎裕次郎	小野紗耶香	小野田 聡
加賀谷 優	笠井 昭吾	檉村 勉	柏木 圭介	梶川 明義
風戸 孝夫	片岡 和哉	加藤 久和	門田 英輝	門脇 未来
金子 剛	亀井 讓	亀井 航	川浪 和子	久徳 茂雄
貴志 和生	北澤 健	北辻 まき	北山 晋也	北山 稔大
清川 兼輔	楠原 廣久	窪 昭佳	久保 和之	倉林 孝之
倉元有木子	栗田 智之	栗山 元根	畔 熱行	黒木 知明
桑原 大彰	桑原 理充	小池 智之	光嶋 勲	高地 崇
此枝 央人	五石 圭一	後藤 孝浩	雑賀 厚臣	齋藤 亮
齋藤 昌美	酒井 成貴	坂村 律生	佐久間 恒	櫻井 敦
櫻庭 実	佐々木正浩	佐武 利彦	佐藤 兼重	佐藤 伸弘
佐藤 宗範	佐野 和史	去川 俊二	塩沢 啓	信太 薫
島田 和樹	清水 梓	清水 史明	清水 雄介	白石 知大
新保 慶輔	末貞 伸子	末延 耕作	杉山 成史	鈴木 康俊
鈴木 良典	鈴木 義久	清家 志円	曾束 洋平	高木 誠司
高木 信介	高須 啓之	高田 温行	高田 聡	武石 明精

武田 孝輔	田島 宏樹	田中 一郎	田中 顕太郎	棚倉 健太
玉井 求宜	玉田 崇和	田港見布江	大安 剛裕	津下 到
常川 主裕	手塚 崇文	寺尾 保信	寺村あずみ	時吉 貴宏
徳岡晋太郎	徳元 秀樹	戸澤 麻美	富田 興一	富田 祥一
富塚 陽介	鳥谷部 莊八	堂後 京子	中井 國博	中川 達裕
中川 浩志	中川 雅裕	中桐 僚子	仲野 雅之	中村 和人
永松 将吾	成田 圭吾	新美 陽介	沼尻 敏明	根本 仁
根本 充	野村 正	服部 亮	芳賀 康史	橋川 和信
橋本 一郎	長谷川健二郎	羽多野隆治	濱畑 淳盛	濱本 有祐
林 明照	林 礼人	林 利彦	林田 健志	兵藤伊久夫
日笠 壽	日原 正勝	平瀬 雄一	福田 憲翁	福積 聡
福永 豊	藤井海和子	藤岡 正樹	藤田 和敏	藤山 浩
藤原 敏宏	古川 洋志	堀 圭二郎	本間 幸恵	前川 二郎
前田 拓	増本 和之	松浦 喜貴	松末 武雄	松田 健
松峯 元	松本 大輔	松本 洋	的場 恵理	丸山 陽子
三浦 孝行	三上 誠	右田 尚	水野 博司	南方 竜也
身原 弘哉	宮内 律子	三宅ヨシカズ	宮永 亨	宮本 慎平
元村 尚嗣	百澤 明	森 弘樹	森島 容子	守永 圭吾
柳下 幹男	矢澤 真樹	矢島 和宜	安永 能周	安村 恒央
柳澤 大輔	柳林 聡	矢吹雄一郎	山川 知巳	山中 浩気
山野 雅弘	山本 匠	山本 康	山本 有祐	山脇 聖子
萬木 聡	横川 秀樹	横田 和典	吉川 勝宇	吉龍 澄子
吉田 周平	吉田 聖	吉田 龍一	渡邊 敏之	渡邊 英孝
和田 仁孝				

(上記以外の申請者:現在再審査中)

(20) レーザー分野指導医の審査をレーザー分野指導医認定委員会において行った。

2024年度レーザー分野指導医合格者氏名(50音順敬称略)

伊藤 悠介 田中 寧子 野村 健志 横山俊一郎

以上 4名

(21) 乳房増大エキスパンダー及びインプラント使用に関する実施医師の
審査をブレストインプラントガイドライン管理委員会において行った。

2024年度実施医師登録者氏名(50音順敬称略)

荒牧 典子	伊藤 蘭	稲田麻衣子	今村三希子	上田 百蔵
大島 梓	大島希実子	勝村 裕司	北井 諒	櫻井 ふみ
渋谷 誠	下田 実果	鈴木 愛弓	関 祥平	高原 英作
田村 聡	CHEN YISYUAN	東野 哲志	東堂 暢子	戸澤 麻美
中江 星子	中林 航大	西浦 蘭子	西村 祐紀	福田 智一

窪田 吉孝	倉片 優	河野 太郎	小久保健一	小林 眞司
小宮 貴子	小室 裕造	坂本 好昭	櫻井 裕之	佐々木 薫
佐野 和史	白石 知大	杉本 孝之	関堂 充	副島 一孝
高木 信介	多久嶋亮彦	竹内 正樹	田中顕太郎	田中 里佳
時岡 一幸	土佐 泰祥	冨田 祥一	冨塚 陽介	西村 礼司
根本 充	浜島 昭人	林 礼人	馬場 香子	平田 晶子
藤井 美樹	堀 圭二郎	松井 瑞子	松崎 恭一	松田 健
松峯 元	松村 一	水野 博司	三川 信之	宮本 慎平
宮脇 剛司	望月 靖史	森 弘樹	矢野 智之	山本 直人
吉村浩太郎	渡辺あずさ			

【中部選挙区（定数17名）】

井上 義一	奥本 隆行	加藤 久和	小室 明人	雑賀 厚臣
佐武 利彦	島田 賢一	常川 主裕	鳥山 和宏	中川 雅裕
野口 昌彦	橋川 和信	樋口 慎一	古川 洋志	安永 能周
山下 昌信	杠 俊介			

【関西選挙区（定数30名）】

朝村 真一	荒田 順	伊藤 文人	大崎 健夫	大谷 一弘
大谷 直矢	大槻 祐喜	大守 誠	垣淵 正男	覚道奈津子
勝部 元紀	河合建一郎	楠原 廣久	久保 盾貴	畔 熱行
桑原 理充	榊原 俊介	坂本 道治	清家 志円	津下 到
冨田 興一	沼尻 敏明	塗 隆志	野村 正	原岡 剛一
日笠 壽	日原 正勝	元村 尚嗣	森本 尚樹	諸富 公昭

【中国・四国選挙区（定数12名）】

安倍 吉郎	戎谷 昭吾	高須 啓之	永松 将吾	橋本 一郎
林田 健志	松本 洋	身原 弘哉	宮本 純平	森 秀樹
八木俊路朗	山下 修二			

【九州・沖縄選挙区（定数16名）】

伊東 大	岩尾 敦彦	上村 哲司	大山 拓人	檜山 和也
門田 英輝	塩沢 啓	清水 史明	清水 雄介	高木 誠司
田邊 毅	大安 剛裕	林 稔	森岡 康祐	守永 圭吾
力丸 英明				

(24) 各種委員会報告

1) 財務委員会

委員長：岡崎 睦

委員：赤松 正、多久嶋亮彦、武田 啓、前田 拓、松田 健

開催年月日：適宜 e-mail 委員会

主な議題：

1. 2024 年度収支決算
2. 2025 年度予算案

活動の概要：

1. 2024 年度収支決算、2025 年度予算案について確認を行った。

2) 専門医認定委員会

委員長：奥本 隆行

担当理事：岡崎 睦

委員：漆館 聡志、荻野 晶弘、大浦 紀彦、小野 真平、檜山 和也、
門田 英輝、門松 香一、河野 太郎、齊藤 晋、佐武 利彦、
高木 誠司、富田 興一、中川 雅裕、永竿 智久、塗 隆志、
野村 正、橋川 和信、林 礼人、舟山 恵美、水野 博司、
山下 修二、山下 昌信、力丸 英明

開催年月日：

1. 2024 年 4 月 11 日（木）（会告，手引き等の修正検討・ポートピアホテル（神戸））
2. 2024 年 11 月 23 日（土）（書類審査・AP 品川（品川），WEB）
3. 2025 年 1 月 9 日（木）、10 日（金）（認定審査・AP 渋谷道玄坂（渋谷））
4. メール会議多数

主な議題：

1. 専門医書類審査
2. 専門医認定審査（筆記試験・口頭試問・最終結果）
3. 会告・手引き等修正に関する検討

活動の概要：

1. 専門医申請者 186 名に対し、研修期間、規定に即した記載などの書類審査をおこなった。再提出後の再審査の結果、合格 185 名、不合格 1 名となった。
2. 書類審査合格者 185 名に対して筆記試験と口頭試問の審査を行ったが、3 名が体調不良により欠席、1 名が無断欠席にて 181 名が受験した。筆記試験では試験問題の一部は問題集から改変して出題し、また新作の図付き問題 5 問と記述式問 2 問を出題して採点した。筆記試験の結果は、最高点 99 点、最低点 62 点、平均 90.6 点であった。合否は、書類審査の減点、筆記試験、口頭試問の総合評価とした。

2024 年度審査の最終結果

専門医審査申請者：186 名

資格（書類）審査不合格者：1 名

筆記・口頭試問不合格者：15 名、欠席者：4 名

専門医試験合格者：166 名

欠席者 4 名を除く全受験者の合格率：91.2%（166/182）

筆記試験受験者の合格率：91.7%（166/181）

（なお、再試問該当者 14 名、うち 7 名は合格）

欠席者 3 名は医師診断書の提出があり、翌年の書類審査は免除可と判断した。

なお、書類合格で筆記試験・口頭試問に欠席、または不合格となった者に対しては次年度受験に際して書類の再審査は免除可能とする扱いとなった。ただしその場合書類の減点も次年度審査に引き継がれることとなる。なお書類内容を改良して次年度再提出することも可能であり、その場合には当該年度の委員会判断で一から再審査となる。

3. 新専門医制度下における会告の齟齬や不明確な点を検討し、修正した会告を発売した（2024 年 5 月、2024 年 9 月）。

3) 専門医生涯教育委員会

委員長：野口 昌彦

委員：秋元 正宇、大守 誠、奥本 隆行、片平 次郎、小室 明人
竹内 正樹、土佐 泰祥、羽多野隆治、浜島 昭人、福田 憲翁
三川 信之、森本 尚樹

開催年月日：2025 年 2 月 1 日（更新審査委員会：WEB 会議）、メール委員会

活動内容：

1. 日本専門医機構の整備指針変更にもなう指導内容の通知および内容の検討（シニアキャリア制度の導入関連、共通講習 B 関連）
2. 「別名称専門医（仮称：相談医）」の認定に関して
3. 会員カードの機能変更にもなうマイ QR コードによる受講管理への移行
4. 2024 年度専門医資格更新審査
5. 専門医講習審査（領域講習・共通講習）
6. 専門医更新の活動休止／猶予申請者への対応
7. 委員会承認の関連学会・研修会等の更新および新規申請審査
8. その他

活動の概要：

1. 日本専門医機構の整備指針変更にもなう指導内容の通知および内容の検討
 - a. シニアキャリア制度にもなう専門医更新申請時の診療実績点数取得法の検討・（連続して）3 回以上の更新を経た専門医の更新においても診療実績の証明の免除は行わない（2026 年度規約の改定（専門医生涯教育細則（第 7 条 3 項）が改

定))

・診療実績点数取得法

A. 5年間に術者あるいは指導者として執刀した症例

B. 5年間に診療した症例について、**症例一覧表**（様式5）に、診療日時、病名、治療法、転帰、診療施設名を入力

C. 筆記試験等の実施（e-testing）

→ A, B, C の全てで証明を行えるよう検討する

施行開始は2027年の更新対象者より適用

b. 更新資格における必須受講項目の追加（2026年度更新者から）

・共通講習B（5項目：医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、医療経済（保険医療に関するものを含む）、両立支援）受講が必須となる。

共通講習Bの免除

2022年4月1日以前に専門医を取得されている医師

専攻医時に “多様な地域*” にあたる地域で1年以上研修をされた医師

専門医取得後に “多様な地域*” にあたる地域で1年以上勤務された医師

*形成外科学会では“多様な地域”の定義として2018年足下充足率0.8以下の地域とした

北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、富山県、福井県、山梨県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、愛媛県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

→ 現行のマイページ入力フォームにおいて共通講習Bの受講が必要か不必要かに応じ振り分けるシステムへの作り直しが必要。

2. 「別名称専門医（仮称：相談医）」の認定に関して

新制度での専門医更新は希望しない65歳以上で、すでに3回以上専門医の更新を経た先生に対し、形成外科学会として別名称を付与しても良いという機構の考えが示された。今年度更新の対象となる上記条件に沿った408名にアンケートを施行。162名（回答率39.7%）より回答があり、その結果半数が別名称を希望された。この結果を踏まえ専門医制度委員会で審議のうえ、「相談医」という名称を希望者に付与することでまとまった。但し学会認定のため「専門医」の標榜は出来ず、また指導医資格も有さない。

3. 会員カードの機能変更にとまなうマイQRコードによる受講管理への移行

第42回日本頭蓋顎顔面外科学会、第137回関西形成外科学会、第30回日本形成外科手術手技学会で施行

4. 2024年度専門医資格更新審査

新制度に基づき更新審査の手引きの改訂を行い、会告として告知（6月）。

専門医更新審査会を2024/2/1に開催。

本年度の専門医資格更新審査対象者は867名で、申請者は660名であった。そのうち更新を承認された者は618名、書類不備により追加書類などの再提出後の再承認審査対象者が42名であった。

5. 専門医講習審査（領域講習・共通講習）および「領域講習申請時の経費」の見直

し

- ・領域講習、共通講習 149 件の審査を行った。
- 6. 猶予申請 20 名で、活動休止申請 3 名が承認された。
- 7. 委員会承認の関連学会・研修会等の更新および新規申請審査
新規申請 2 件と辞退希望 2 件の審査が行われ承認された。
- 8. その他
 - ・総会・基礎学術集会参加の会員マイページへの自動登録
 - ・日形会ビデオライブラリーへの動画投稿を業績点として認めることが承認された。

4) 専門医試験問題作成委員会

委員長：門田 英輝

担当理事：宮脇 剛司

委員：飯田 拓也、石田 勝大、伊藤 文人、伊東 大、宇佐美泰徳
戎谷 昭吾、大守 誠、尾崎 峰、北山 晋也、窪田 吉孝
黒木 知明、小久保健一、齊藤 晋、富田 興一、中井 國博
永松 将吾、浜島 昭人、林 稔、舟山 恵美、牧口 貴哉
松井 瑞子、宮本 純平、守永 圭吾

事務局：上藺 健一

活動報告：

1. 《委員会 2024 年度予算案》

試験問題データベース年間維持費	¥400,000
会議費	¥100,000

2. 《活動報告》

- 1) 専門医試験問題作成委員会開催（メール委員会）：複数回開催
- 2) 専門医試験の新作問題（MCQ:20 題、医療安全・倫理・感染:9 題、記述式:3 題、視覚資料付き:18 題）を提出した。
- 3) 試験問題の偏りの検討・是正について
近年話題の項目で、出題の少ない項目（リンパ浮腫、脈管奇形、眼瞼下垂、顔面神経麻痺、医療安全・倫理・感染）を中心に問題を追加した。
- 4) 専門医試験問題集・解説の充実
- 5) 視覚資料付き問題 10 題を選出し専門医認定委員会に提出、うち 5 題が 2024 年度専門医認定試験の筆記問題に出題された。
- 6) 2024 年度専門医認定審査における筆記試験問題の解説記事投稿
専門医認定委員会と連携し、2024 年度専門医認定試験問題の解説文を作成した。
日形会誌編集委員と連携し日本形成外科学会誌 2025 年 5 月号に掲載予定。
- 7) 試験問題データベース管理、ホームページへのアップロードについて
MCQ の新作問題を解説文ともに追加しデータ管理委託先（春恒社）に提出した（2025 年 2 月）。
- 8) スマートホン用専門医試験問題アプリの試験的導入
会員作成のアプリを無償で試験的導入し、その効果についてアンケート調査を行った。アンケート回答者全体の 1/3 ほどがアプリを使用し、アプリ使用者の 4/5 は「アプリは直感的に使用できた」と回答した。今後、公式に導入をするか

検討予定。

5) 認定施設認定委員会

委員長：小室 裕造

委員：秋元 正宇、朝村 真一、今井 啓道、垣淵 正男、櫻庭 実
品岡 玲、清水 雄介、土佐 泰祥、兵藤伊久夫、古川 洋志
松田 健、宮本 慎平、元村 尚嗣、森 秀樹、四ッ柳高敏

開催年月日：

2024年5月12日：2025年度専門研修プログラム審査会

その他随時メール審議

主な議題：

1. 研修プログラムの新規・更新申請審査
2. 各プログラムの変更申請への対応
3. シーリング対象都道府県における定員数調整

活動の概要：

1. 2025年開始の新専門医制度における研修プログラムおよび基幹施設・連携施設の構成について、学会内の一次審査を上記日程で行った。申請112プログラム（更新111、新規1）について審査し、修正が必要な施設は通知した。
2. 専攻医募集に関して
次年度の研修プログラムの専攻医に関する定員に関する報告・審議が行われた。シーリング対象以外の都道府県におけるプログラム施設から定員数の増加、連携施設の追加・変更の申請が11件あり、メール審議の上承認した。
3. シーリング対象都道府県における定員数調整の検討
東京都：基幹プログラムからの要望に基づき定員数調整について検討し、特別地域連携枠の配分を行い承認された。
大阪府、兵庫県、福岡県：基幹プログラム責任者間での定員数調整を行っていた承認された。

6) 指導医認定委員会

委員長：宮脇 剛司

委員：安倍 吉郎、伊東 大、田中 里佳、西本 聡、林 利彦

開催年月日：適宜メール委員会

主な議題：指導医の認定について

活動の概要：

1. 1年2回の審査をメールで行った。
【第1回】4月1日～6月30日（消印有効）
申請者数21名、認定21名、不認定0名であった。
【第2回】10月1日～12月31日（消印有効）
申請者数19名、認定19名、不認定0名であった。
この申請から、分野指導医認定証の代わりに合格通知を申請書類と認めることとし、会告に追加した。
2. 注意事項

専門研修指導医の認定要件につきまして、現在実施している暫定処置（専門医を1回更新していれば複数の分野指導医資格がなくとも指導医とみなす）を恒久化することになりました。つまり、専門医を1回以上更新している方は自動的に専門研修指導医（=プログラム上の指導医）とみなすこととなります。ただし、これは基幹施設もしくは連携施設に所属しているときのみ認める専門研修プログラム上の役割です。複数の分野指導医資格を取得し、形成外科領域指導医の認定を受けた方に発行する認定証は発行しません。

7) 学術委員会

委員長：松村 一

委員：青木 昂平、小川 令、小山 明彦、櫻山 和也、加藤 達也
小久保健一、清水 雄介、土佐 泰祥、成島 三長、野村 正
林 利彦、林田 健志、松峯 元、三川 信之、宮本 純平
八巻 隆、吉龍 澄子

開催年月日：

1. 2024年4月17日（学術委員会 メール会議）
2. 2024年7月4日（学術委員会 zoom）
3. 2025年1月6日（学術委員会 zoom） その他、適宜メール委員会

活動の概要：

1. 2024年4月10日、春季学術講習会のe-learning配信を「四肢の再建外科」をテーマとして開始した。
 - (1)「切断指」 柳林 聡（新東京病院 形成外科）
 - (2)「筋・腱・靭帯損傷」 鳥谷部 荘八（仙台医療センター 形成外科手外科）
 - (3)「血管・神経損傷（含むコンパートメント症候群。切断指を除く）」 松末 武雄（関西電力病院 形成外科）
 - (4)「軟部組織欠損（再建）」 上菌 健一（九州大学 形成外科）
2. 2024年10月17日、秋季学術講習会のe-learning配信を「皮膚軟部腫瘍の治療～薬物療法を含めて」をテーマとして開始した。
 - (1)「神経線維腫症の診断と治療」 坂本 道治（京都大学 形成外科）
 - (2)「低流速型脈管奇形（静脈奇形、リンパ管奇形）の診断と治療」 石川 耕資（北海道大学 形成外科）
 - (3)「高流速型脈管奇形（乳児血管腫）、その他の血管性腫瘍の診断と治療」 野村 正（神戸大学 形成外科）
 - (4)「有棘細胞癌、メラノーマの診断と治療」 青木 恵美（国立鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科）
3. 形成外科学会として専門医教育のためにLMS（Learning Management System）を利用するにあたり、LMS委員会で下記を導入検討中。LMSに関して2025年日本形成外科学会総会・学術集会で学術委員会企画のセッションを開催予定。
 - ・導入業者：ボウ・ネットシステムズ株式会社
 - ・導入システム呼称（仮）：DUH（Digital University Hub）

- ・進捗状況：毎月ボウ・ネットシステムズ及び日本形成外科学会事務局とミーティングを行い、教材コンテンツについて、学術講習会の資料を利用することを委員会内で方針を決定した。今後、使用する教材コンテンツの著作権、個人情報取り扱いについて作成者に確認予定。

LMS 委員会（委員長：加藤達也、松村一、青木昂平、清水雄介、野村正、三川信之）

4. 2024 年度学術奨励賞は、日形会誌および JPRS 以外の、2024 年 1 月号から 12 月号までの邦文または英文の医学雑誌に掲載済みの論文を募集した。2024 年度から若手部門（応募締切時の年齢が 35 歳未満）を新規で設立した。計 26 編（基礎部門 7 編、臨床部門 7 編、若手部門 12 編）の応募があり、候補論文編（基礎部門 3 編、臨床部門 3 編、若手部門 5 編）を理事会に上申した。
5. 2025 年 4 月 16 日、春季学術講習会の e-learning 配信を「先天異常」をテーマとして開始予定。
 - (1) 「唇裂・口蓋裂」 彦坂 信（国立成育医療研究センター 形成外科）
 - (2) 「耳介の先天異常」 小山 明彦（福島県立医科大学 形成外科）
 - (3) 「体幹の先天異常」 野口 昌彦（長野県立こども病院 形成外科）
 - (4) 「手足の先天異常」 小野 真平（日本医科大学病院 形成外科）

7-i) 用語アドホック委員会

委員長：鳥山 和宏

担当理事：松村 一

委員：朝村 真一、飯田 拓也、漆館 聡志、樫山 和也、河合建一郎
小久保健一、権太 浩一、清水 史明、多久嶋亮彦、富田 興一
永竿 智久、林田 健志、松峯 元、吉龍 澄子

開催年月日：適宜 e-mail 委員会

主な議題：

形成外科用語集第 5 版の検討

活動の概要：前回の用語集の発刊から 15 年が経過して改訂が必要と思われる。

1. 形成外科用語集第 5 版からエクセルの資料を作成した。
2. 形成外科用語集第 5 版からのエクセルの資料から、不適切な用語の候補を拾い挙げ検討中。

8) ガイドライン委員会

委員長：鳥山 和宏

委員：青木 恵美、朝村 真一、漆館 聡志、大城 貴史、大守 誠
小林 眞司、権太 浩一、佐久間 恒、佐武 利彦、時岡 一幸
森 秀樹、八木俊路朗、杠 俊介

開催年月日：

- ①2024 年 4 月 10 日現地、②2024 年 7 月 11 日現地③2024 年 10 月 17 日現地、
- ④2024 年 11 月 14 日現地 適宜 e-mail 委員会

主な議題：

次回形成外科診療ガイドラインの改訂

ガイドブックの発刊

活動の概要：

日本形成外科学会、日本創傷外科学会、日本頭蓋顎顔面外科学会の3学会合同ガイドライン委員会（統括責任者）で次回改訂につき議論した。基本的骨子は、Minds 診療ガイドライン作成マニュアルに沿って、「スコープ（ガイドラインの企画書）」「総論」作成して、厳選したCQで文献検索とシステマティックレビューの作業を行うこととした。

- ・2024年総会のガイドライン委員会企画で、「診療ガイドラインの今・これから」の講演とシステマティックレビューのレクチャーを企画。「診療ガイドラインの今・これから」は日形会ビデオライブラリーに収録された。
- ・2025年総会のガイドライン委員会企画で「難病・希少腫瘍に対する診療ガイドライン策定：神経線維腫症1型に対する取り組み」などを講演予定。
- ・2024年5月班員の追加募集にて全メンバーが決定された。ついで統括責任者より班長が指名された。
- ・統括責任者によりスコープ（企画書）が作成され、班長により従来の基本的なCQから総説が執筆された。また、各班でCQが厳選されて、文献検索が行われて、システマティックレビューが進行中である。
- ・今後形成外科診療ガイドライン2026年版は学会経費で製本あるいは電子書籍などで公開を検討中。
- ・作成に協力した「叢状神経線維腫—悪性末梢神経鞘腫瘍診療ガイドライン」が2024年6月に刊行された。
- ・患者向けのガイドブックの乳房再建は医歯薬出版会社より2024年7月出版され、されに増刷予定。また日形会ホームページでガイドブックの内容を周知し患者向けのビデオコンテンツについて検討中。リンパ浮腫は全日本病院出版会より2025年4月出版予定。

9) -1 日形会誌編集委員会

委員長：櫻庭 実

委員：浅野 裕子、朝村 真一、東 隆一、荒田 順、宇佐美泰徳
漆館 聡志、戎谷 昭吾、大守 誠、小野 真平、覚道奈津子
檜山 和也、久徳 茂雄、窪田 吉孝、桑原 理充、榊原 俊介
佐藤 伸弘、関 征央、副島 一孝、高須 啓之、時岡 一幸
冨田 興一、鳥谷部 荘八、中井 國博、永竿 智久、塗 隆志
羽多野隆治、林 利彦、兵藤伊久夫、樋口 慎一、藤岡 正樹
牧口 貴哉、松崎 恭一、松峯 元、宮本 純平、森 秀樹
守永 圭吾、森本 尚樹、安永 能周、山中 浩気、山本 直人

吉龍 澄子

開催年月日：メール編集委員会

①令和6(2024)年4月12日(現地)、②令和6(2024)年12月20日(メール)、③令和7(2025)年1月10日(メール)

活動の概要：

1. 投稿論文進捗状況 令和6(2024)年1月1日～令和6年12月31日
 1. 投稿数 79 篇 (総説1、原著11、創意・工夫3、症例報告62、投書2)
 2. 掲載決定 52 篇 (総説1、原著6、創意・工夫3、症例報告40、投書2)
 3. 進行中 18 篇 (原著1、症例報告17)
 4. 待機中 1 篇 (症例報告1)
 5. 却下 2 篇 (原著2)
 6. 取り下げ 6 篇 (査読中 - 原著2 症例1、査読前不備修正 - 症例3)
44 巻1号～12号(2024年)掲載数 1～6月32 篇、7～12月30 篇、計63 篇*
(*投書2 篇を含む)
2. 専門医試験関連記事の掲載について
専門医認定委員会と専門医試験問題作成委員会の協力により、44 巻5号〈特集〉に2023 年度(第46 回)試験の総評と試験問題の解説を掲載した。
3. 2024 年度日本形成外科学会誌優秀論文賞候補論文選考状況
日形会誌44 巻1～12号掲載の〈原著〉〈短報〉〈創意・工夫〉9 篇のなかから、投票により以下の2 篇を候補論文として選出。
投票率92.7%：41 名中38 名投票(委員長を除く)
〈原著〉後藤 大十, ほか(静岡県立こども病院形成外科)：臍ヘルニアを体系的に診療する—当院における診療例の後方視的検討から—。44 (9)：401～410, 2024.
〈原著〉栗原美紗樹, ほか(東京医科歯科大学形成・再建外科学分野)：再建乳房の輝度差の検討—深下腹壁動脈穿通枝皮弁と広背筋皮弁の比較—。44 (3)：99～103, 2024.
4. 2024 年度日本形成外科学会誌優秀症例報告賞候補論文選考状況
日形会誌44 巻1～12号掲載の〈症例報告〉51 篇のなかから、投票により以下の2 篇を候補論文として選出。
投票率85.4%：41 名中35 名投票(委員長を除く)
〈症例報告〉三浦 孝行, ほか(仙台医療センター形成外科手外科, 東北ハンドサージャリーセンター)：長期経過観察をし得た mirror hand の1 例。44 (12)：649～656, 2024.
〈症例報告〉川田 恭平, ほか(大阪公立大学大学院医学研究科形成外科学)：皮弁アプリ“Muze”の開発。44 (2)：60～67, 2024.
5. 第67 回総会・学術集会、第33 回基礎学術集会中の委員会企画の企画および講演
※第67 回総会・学術集会：2024/4/12(金) 9：00～10：30 神戸国際会議場
第5 会場(5F 502)「さあ書こう、はじめての医学論文」
座長：櫻庭 実(岩手医科大学形成外科)、浅野裕子(亀田総合病院乳腺センター)
投稿規定基本の「き」 安永能周(静岡県立静岡がんセンター再建・形成外科)
症例報告の書き方その1 塗 隆志(大阪医科薬科大学形成外科)
症例報告の書き方その2 漆館聡志(弘前大学大学院医学研究科形成外科学講座)

原著論文の書き方その1 森本尚樹（京都大学大学院医学研究科形成外科学）

原著論文の書き方その2 原著論文の始めの一步と茨の道

藤岡正樹（国立病院機構長崎医療センター形成外科）

日形会誌編集長から査読の舞台裏 櫻庭 実（岩手医科大学形成外科）

※第33回基礎学術集会：2024/10/18（金）16：40～17：40 ヒルトン東京お台場

第1会場（Room 1）「AI を用いた論文執筆の現状と問題点」

座長：櫻庭 実

舘 一史 「AI チャットボットの使用経験とリスク」

櫻庭 実 「医学雑誌投稿規定から見た AI と論文執筆」

中村知繁 「生成 AI が研究と学術執筆に与える影響」

岡田達也 「JPRS における生成 AI の利用制限の解説」

6. 論文投稿・査読システム機能追加

従来、投稿者のみに送信されていたメールを共著者全員に送信する仕様に変更。

2025/2/10 新規投稿分から運用（45巻1号に会告を掲載）。

7. オンラインジャーナル公開状況（2024年1月31日現在）

2024年1月～2024年12月公開分

公開号：43巻12号（2024/1/5公開）～44巻11号（2024/12/5公開）

公開数：82篇（論文60、学会抄録16、投書2、特集2、追悼2）

アクセス件数（集計対象期間2024/1/1～2024/12/31）

・書誌事項：15,824件

・全文PDF：4,269件

9) -2 Journal of Plastic and Reconstructive Surgery 編集委員会

委員長：多久嶋亮彦

担当理事：小室 裕造

委員：安倍 吉郎、荒田 順、荒牧 典子、飯田 拓也、上村 哲司
大浦 紀彦、大城 貴史、大塚 尚治、小川 令、覚道奈津子
加藤 久和、門田 英輝、河合建一郎、木股 敬裕、久保 盾貴
窪田 吉孝、権太 浩一、齊藤 晋、坂本 道治、櫻庭 実
佐藤 伸弘、清水 史明、副島 一孝、素輪 善弘、高成 啓介
田中 一郎、田中 克己、田中 里佳、玉田 一敬、津下 到
土佐 泰祥、富田 興一、鳥山 和宏、永竿 智久、中塚 貴志
沼尻 敏明、橋川 和信、橋本 一郎、濱本 有祐、林 明照
藤井 美樹、藤岡 正樹、藤原 敏宏、古川 洋志、堀 圭二郎
本多 孝之、前田 大介、松崎 恭一、松末 武雄、松村 一
水野 博司、元村 尚嗣、森本 尚樹、安永 能周、八巻 隆
山田 潔、山本 匠、吉村浩太郎

活動の概要：

開催年月日：Zoom 編集委員会 ①令和7（2025）年1月29日

1. 投稿論文進捗状況(summary 参照)

2. ESCI (Web of Science) 申請について

ESCI (Web of Science) の収載審査に合格（令和6年8月）。2024年6月のJIF

(Journal Impact Factor) 発表でインパクトファクター取得予定。

3. PMC 申請について

PMC の最終審査に通過 (令和 7 年 2 月)。同年 6 月に PubMed 掲載の見込み。

4. 海外からの投稿数増加のための戦略

5. 優秀論文賞の選考

最優秀論文賞

Nipple malposition after nipple-sparing mastectomy with implant-based reconstruction:
Understanding its occurrence and prevention

Shiraishi, Tomohiro Kyorin University

優秀論文賞

Inclination of the lip and nose during resting and lip protrusion in
children with unilateral cleft lip

Masuoka, Hiromu Kansai Medical University

最優秀症例報告賞

Long-Term Outcomes on Patients with Microtia after Autogenous
Costal Cartilage Reconstruction

Kataoka, Misa Asahi General Hospital

優秀症例報告賞

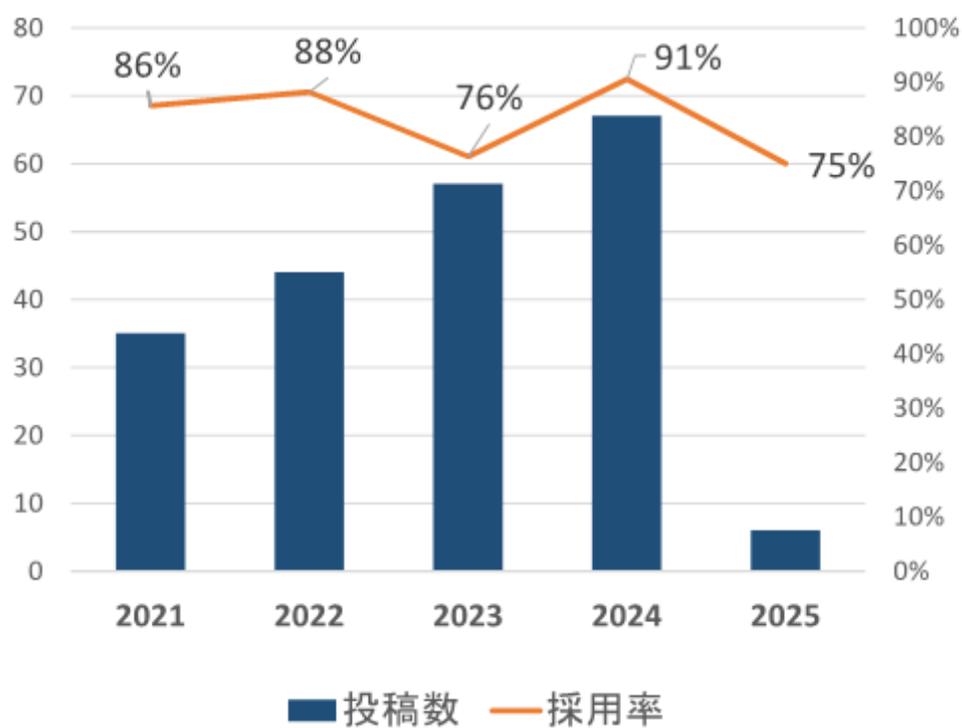
Use of supraeyebrow skin as a frontalis myocutaneous flap to
reconstruct temporal skin defect and treat facial nerve palsy: a
report of two cases

Ito, Risako Kitasato University Hospital

投稿論文進捗状況 summary

1. All Submissions

	2021	2022	2023	2024	2025
投稿数	35	44	57	67	6
採用数	12	30	29	48	6
採用率	86%	88%	76%	91%	75%
Revision投稿待ち	8	8	11	15	1



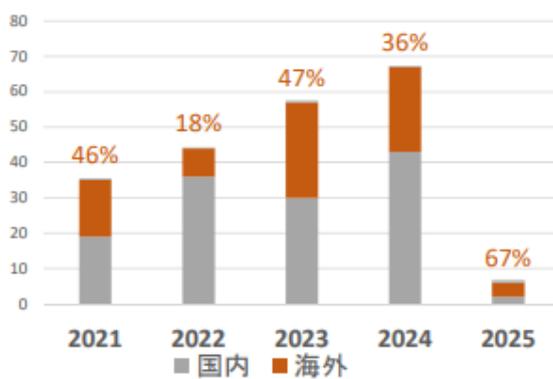
4-1. Submissions by Countries

	2021	2022	2023	2024	2025
国内	19	36	30	43	2
海外	16	8	27	24	4
海外論文の投稿率	46%	18%	47%	36%	67%
合計投稿数	35	44	57	67	6

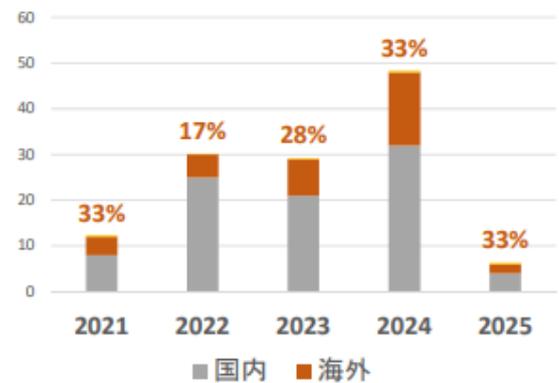
4-2. Articles Accepted by Countries

	2021	2022	2023	2024	2025
国内	8	25	21	32	4
海外	4	5	8	16	2
採用論文の海外の割合	33%	17%	28%	33%	33%
合計採用数	12	30	29	48	6

4-1.Submission Rate



4-2. Acceptance Rate



国別投稿数

投稿国	投稿数
Japan	43
Malaysia	5
United States	5
India	2
Singapore	2
Italy	2
Iran (the Islamic Republic of)	1
France	1
Bahrain	1
Indonesia	1
United Kingdom of Great Britain and Northern	1
Ireland	1
Colombia	1
Belgium	1
Turkey	1

10) 渉外・広報委員会

委員長：小山 明彦

委員：今井 啓道、漆館 聡志、岡本 年弘、小川 令、樫村 勉
岸邊 美幸、坂本 好昭、関 征央、鳥山 和宏、西本 聡
橋川 和信、原岡 剛一、松本 洋、森岡 康祐

開催年月日：メール委員会による審議を適宜行った。

活動の概要：

1. 日本形成外科学会のHPのSEO対策について、専門業者を交えミーティングを行った。
 - ・キーワードの拡充：専門用語に加えて一般ユーザーの使用する単語を追加
 - ・検索数の上位のキーワードとなっている疾患のページ改定
2. HPの専門医検索を改善した。
 - ・「一般の方へ」に専門医一覧を移行し、地図からアクセス出来るようにした。
 - ・同時に、4つの分野指導医一覧も同ページよりアクセス出来るようにした。
 - ・トップページに専門医一覧・検索のバナーを設置した。
3. マスコミやテレビ局、Youtubeなどの放送内容に関する質問や監修依頼に対応した。
4. バナー広告、HPリンクの掲載適否判断
5. 学会誌のNewsletterへの掲載適否判断

10-i) 形成外科キャンペーンワーキンググループ

委員長：清水 雄介

担当理事：小山 明彦

委員：安倍 吉郎、漆館 聡志、奥本 隆行、片平 次郎、小林 尚史
品岡 玲、島田 賢一、高木 誠司、大安 剛裕、辻 依子
鳥山 和宏、中川 雅裕、永松 将吾、福田 憲翁、牧口 貴哉
松井 瑞子、松本 洋、安村 恒央

開催年月日：2024/4/12（総会）2024/10/18（基礎学術集会）、その他適宜 e-mail により委員会開催

活動の概要：

1. 形成外科専攻医リクルート企画

① レジナビフェア参加

2024年5月26日大阪会場、6月16日東京会場に日本形成外科学会としてブースを出展した。ブース来訪者数は大阪会場31名（学生25名、研修医6名）、東京会場41名（学生29名、研修医・レジデント12名）であった。来訪者の中から8名（学生4名、研修医4名）、次項の形成外科セミナーへの参加応募があった。

② 形成外科セミナー企画

2024年8月17日、下記の7名の講師を招いてウイנקあいち（名古屋）で形成外科セミナー「We are plastic surgeons」を開催した。合同会社アッヴィの共催を得た。講師は清水雄介（琉球大学）、小山明彦（福島県立医科大学）、犬飼麻妃（藤田医科大学）、安村恒央（海南病院）、棚倉健太（三井記念病院）、原かや（八重洲形成外科・美容皮膚科）、朝日林太郎（日本医科大学）を選定、座長は中川雅裕（浜松医科大学）、小林尚史（帝京大学ちば総合医療セ

ンター)とした。会場スタッフとして中村侑樹(浜松医科大学)、恒川幸代(名古屋市立大学)が参加した。30名の募集としたところ100名の応募があった。100名の中から、まずは学生を選出(22名)、残りの研修医の中からレジナビフェアを通じて応募があったものを選出(3名)した。残りの5名はそれぞれ北海道、東北、近畿、九州、沖縄から過疎地域と考えられる所属施設の者を選出した。追加で交通費の支給なしでも良いという「オブザーバー参加者」を募集したところ15名の応募があり、合計で45名の参加となった。セミナー後の匿名アンケートでは形成外科に「とても興味をもった(81%)」、「興味をもった(19%)」であった。

2. 医学生・研修医の形成外科学会参加費支援及び医師によるアテンド企画

形成外科学会総会、基礎学術集会に参加する医学生、研修医を増やし、形成外科の認知度を高めるための企画を実施することを決定していた。しかし企画決定時にすでに学会参加募集が開始されていたため、対応が困難であり、実施できなかった。

1 1) 国際委員会

委員長：小川 令

担当理事：松村 一

委員：秋田 新介、浅野 裕子、今井 啓介、小野 真平、貴志 和生
河野 太郎、関 征央、素輪 善弘、田中 里佳、橋本 一郎
水野 博司、矢野 智之、吉村浩太郎

主な議題：

1. 2023年基礎学術集会におけるInternational Session開催の件
2. 2024総会・学術集会におけるInternational Session開催の件
3. Plastic Surgery The Meeting 2023 (ASPS) in Austin 参加報告掲載の件
4. Plastic Surgery The Meeting 2024 (ASPS) in San Diego の発表者選定の件

活動の概要：

1. 2024 基礎学術集会の件
2. 2025 総会・学術集会の件
3. Plastic Surgery The Meeting 2024 (ASPS) in San Diego の参加報告掲載の件
4. Plastic Surgery The Meeting 2025 (ASPS) in New Orleans の発表者選定の件
5. 4th APRAS Educational Webinar の件
6. 5th APRAS Educational Webinar の件
7. 6th APRAS Educational Webinar の件

活動の概要：

1. 委員会が企画する国際セッション関連費は、総会400万、基礎学術集会200万であるが、2024年10月の基礎学術集会では、国際プログラムはIPSRCとして、木曜・金曜に2部屋、土曜に1部屋で開催することとなった。15名の宿泊費199万2522円を国際セッション関連費として支出した。
2. 2025年4月の総会・学術集会では、美容外科の教育を考えるセッションで招聘する韓国のYeon Jun Kim先生に支払う3000USD、ドイツのDirk Richter先生に支払う5000USDのほか、MOUに基づいた招聘(8名で11000USD)に対して国際セ

ッション関連費を使用することとなった。都内の宿泊費が高価であるものの、400万以内に収まる見込みとなった。

3. Plastic Surgery The Meeting 2024 (ASPS) in San Diego に参加し、報告書執筆をご承諾いただいた9名の参加報告を日形会 Website に掲載した。
4. Plastic Surgery The Meeting 2025 (ASPS) in New Orleans への演題推薦(口演1件、ポスター10件)を応募のあった10演題から選出し、口演1件、ポスター8件、不採択1件となった。理事長の承認を得て、本人に通知した。選出されなかった1演題に関しては、学会への通常の演題投稿を勧め、ポスターに選出された8演題に関しては、自ら演題投稿して口演を目指しても良いことを通知した。実際に出席された後は、参加報告をwebに掲載する予定である。
5. 2024年9月4日に4th APRAS Educational Webinar が開催された。Topics は Facial Aesthetic Surgery であり、日本人講師は参加していない。
6. 2025年の1月10日に5th APRAS Educational Webinar が開催された。下肢再建がトピックスであり、国際委員会で選出された昭和大学の高木信介先生が講師として参加された。
7. 2025年の5月に6th APRAS Educational Webinar が開催されるが、手外科がトピックスであり、国際委員会において日本医科大学の小野真平先生が講師として推薦された。

1 2) 社会保険委員会

委員長：島田 賢一

担当理事：上村 哲司

委員：秋元 正宇、飯田 拓也、伊藤 奈央、伊藤 文人、大城 貴史
荻野 浩希、尾崎 峰、垣淵 正男、勝部 元紀、加藤 久和
畔 熱行、佐武 利彦、清家 志円、高木 信介、田邊 毅
土佐 泰祥、永松 将吾、二ノ宮邦稔、沼尻 敏明、野村 正
日原 正勝、本多 孝之、前田 拓、松田 健、矢澤 真樹
山本 直人、杠 俊介、渡辺あずさ

顧問：金子 剛、関堂 充

開催年月日：2024年 8月9日(金) Web委員会 2024年 10月28日(月) Web委員会
適宜e-mail委員会

活動の概要：

1. 保険改訂学会アンケート

2024年5月に保険改訂に関するアンケートを行った。アンケート結果について順位づけを行なった。

新設

1. 静脈奇形硬化療法 IVR学会、日本静脈学会と共同提出(記載は日本形成外科学会)
2. 筋層下、骨膜下顔面軟部組織腫瘍摘出(前額脂肪腫、dermoidなど)
3. 乳房再建術・一次的に行うもの(内視鏡下) JOPBSと共同提出(記載は日本形成外科学会)
4. 瘢痕・ケロイドに対するステロイド皮内注射
5. 乳房皮膚延長術(内視鏡下) JOPBS と共同提出 (記載はJOPBS)

上記のほか、ロボット関連の新設項目、人工乳房抜去はJOPBS、乳癌学会と連携して提出

していく。

改正

1. 切開創局所陰圧閉鎖処置機器加算 適応拡大 (K939-9)
2. 自家脂肪注入 適応拡大 Romberg病、小児先天異常など(乳房はJOPBSより)。
3. ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建(乳房切除後) 適応拡大(Poland症候群など)
4. 超音波凝固切開装置等加算適用拡大
5. 乳房切除術(性適合) 増点
6. 陥没乳頭形成 適応拡大
7. シロリムスの血中濃度測定適応拡大(静脈奇形・リンパ管腫) 日本小児外科学会より要望提出。

2. 外科系学会保険委員会連合(外保連) 関連

上記要望の中で新設の外保連試案のないものに関しては実態調査を行い外保連試案を作成した(静脈奇形硬化療法・筋層下、骨膜下顔面軟部組織腫瘍摘出)。作成した試案を外保連手術委員会に提出、審議を経て認可された。上記改訂要望を2024.9.30までに外保連に提出し、要望記載学会の提出を行った。令和8年度改訂にむけ医療技術評価提案書を2025.5.21までに提出予定である。特定保険医療材料の償還価格見直しに関するアンケートを委員会内で行った。

3. 日本医師会疑義解釈委員会・保険適用検討委員会(金子剛委員長) 関連

疑義解釈委員会では製造販売業者からの医薬品・医療機器の供給停止を審議した。

4. 空気圧式リンパ流促進装置適正使用指針作成(2024年7月29日発出)

日本リンパ浮腫学会、日本リンパ浮腫治療学会と共同で、リンパ浮腫患の患肢および体幹を空気圧で圧迫し浮腫を軽減を目的とした逐次型空気圧式リンパ流促進装置の使用指針を策定した。

5. 「セルーションセルセラピーキットSUI」 適正使用指針の検討(主担当は泌尿器科)

上記の適正使用指針および患者説明書について、委員会で検討を行った。適正使用指針および患者説明書の修正を依頼し承認した。本治療に関しては脂肪採取が必須であり、形成外科医と泌尿器科医が共通の基盤で患者治療にあたる必要があると考え、泌尿器科医師に脂肪移植に関する日形会特別セミナーの受講を必須とすることとした。自家脂肪注入特別セミナーに尿失禁治療の項目を追加し、泌尿器科医師の受講と証明書発行についての調整をすすめる。

6. メラノサイト含有ヒト(自己)表皮由来シート(ジャスミン)の保険適用案の検討 「メラノサイト含有ヒト(自己)表皮由来細胞シート(販売名ジャスミン)」 適正使用に向けた指針(日本白斑学会作成)に関して、保険適応案について検討を行った。その後令和5年10月に保険収載となった。

7. モノエタノールアミノレイン酸塩(オルダミン)を用いた静脈奇形に対する硬化療法の保険収載に関して

硬化療法保険収載を進めるため、社保委員会内に小委員会を設置した(委員長 杏林大学 尾崎峰)。また、今後、研修プログラムとして「静脈奇形硬化療法 e-learning」を日本形成外科学会で作成していく。

8. 広報活動

①特別セミナー：自家脂肪注入術特別セミナー

2022年4月よりwebで受講可能。

②社保委員会企画セミナー 2024年4月10日（木） 神戸

2024年度診療報酬改訂の要点

司会：島田賢一，上村哲司担当理事

演題：2024年度診療報酬改定の解説（総論）

－形成外科医が知っておくべきポイント

荻野 浩希（関東労災病院 形成外科）

2024年度診療報酬改定の解説－形成外科分野における改訂

関堂 充（筑波大学病院 形成外科）

1 3) 倫理委員会

委員長：上村 哲司

委員：東 隆一、五石 圭一、副島 一孝、田中 克己、四ッ柳高敏
力丸 英明

外部委員：大磯義一郎、北河 隆之、松村 由美

開催年月日：適宜 e-mail 委員会

主な議題：

1. グラム CST 問題に関連する調査
2. 重篤な遺伝性疾患を対象とした着床前遺伝学的検査（PGT-M）
3. 日本医学会 COI 管理ガイドライン

活動の概要：

1. グラム CST 問題に関連する調査において、調査特別委員会からの報告に対して、懲罰に関して外部委員の方々に第三者の立場からご意見を伺った。
2. 日本産科婦人科学会の「重篤な遺伝性疾患を対象とした着床前遺伝学的検査（PGT-M）」に関して、日本医学会からその分科会である日本形成外科学会での検討審査に対する報告・承認、並びに課題の検討を継続的に行うこと、そして、課題の検討を継続的に行う「運営委員会」の設置に関して、検討を行った。遺伝性疾患関連ワーキンググループで、日本産科婦人科学会での倫理審議会への対応を行うことを確認した。
3. 日本医学会 COI 管理ガイドライン一部改定案（論文投稿における COI 手続きの簡略化）について 日本形成外科学会編集委員長の桜庭先生と英文誌（JPRS）の編集長の多久嶋先生にご意見を頂き、日本医学会のガイドラインの COI 申告の手続きの改訂（資料あり）に関して、承認する回答を行った。

論文投稿における COI 手続きの簡略化について

日本医学会利益相反委員会委員長 土岐祐一郎

日本医学会のガイドラインでは筆頭著者が全共著者の COI 申告を集めて、投稿時に提出するということが推奨しているが、これが責任著者の負担になっている。日本医学会のガイドラインは COI 申告の手続きにおいて ICMJE よりも厳格な部分があるのでこれをより柔軟な対応ができるように変えたい。

一方で、出版社によっては、COI 申告書の提出を求めず、論文内の記載のみで良いとする方針を推奨しているところもあるが、医学系雑誌において COI 開示の重要性は高いので引き続き著者全員の COI 申告書の提出は必須とする。

電子的手法による COI 申告は著者の負担の減少に有用なので推奨したい。

現在の論文における COI 開示について（「日本医学会 COI 管理ガイドライン 2025」における更新案）

	ICMJE	日本医学会 ガイドライン 2022	日本医学会 ガイドライン 2025
論文記載	投稿時	投稿時	投稿時
全著者の COI 申告書の提出	必須	必須	必須
ICMJE フォームの使用	義務	努力目標	努力目標
ICMJE フォームの提出のタイミング	原則 投稿時	投稿時	原則 投稿時
COI 申告書回収	編集者	責任著者	責任著者/編集者
出版時の COI 開示方法	申告書の公開（リンク） もしくは 論文への記載	論文への記載	申告書の公開（リンク） もしくは 論文への記載

参考資料

1. ICMJE Recommendations

<https://www.icmje.org/recommendations/>

2. 日本医学会 COI 管理ガイドライン 2022

https://jams.med.or.jp/guideline/doi_guidelines_2022.pdf

30 頁 (8. 自己申告の時期と開示方法 (3) 学術雑誌論文著者らの第三者組織・団体との関わり合い/諸活動/COI 開示 ①著者 (author))

現行 (2022)

全著者は、投稿する医学雑誌の COI 指針に基づき、第三者組織・団体との関わり合い/諸活動/COI 状態について申告開示しなければならない。通常、責任著者 (corresponding author) は論文投稿、査読、および出版のプロセスにおける主たる連絡責任者であり、著者の詳細情報、倫理委員会承認、利益相反申告書の回収と最終確認などの事務的手続きを全て行い、公正性を保証する役割を担う。また、論文公表後は、その研究に対する批判や疑義が生じた場合には当該雑誌発行者からの要請に応じ真撃に対応する立場でなければならない。

改定案 (2025)

全著者は、投稿する医学雑誌の COI 指針に基づき、第三者組織・団体との関わり合い/諸活動/COI 状態について申告開示しなければならない。通常、責任著者 (corresponding author) は論文投稿、査読、および出版のプロセスにおける主たる連絡責任者であり、著者の詳細情報、倫理委員会承認、利益相反申告書の回収と最終確認などの事務的手続きを全て行い、公正性を保証する役割を担う。また、論文公表後は、その研究に対する批判や疑義が生じた場合には当該雑誌発行者からの要請に応じ真撃に対応する立場でなければならない。

現行 (2022)

31 頁 (8. 自己申告の時期と開示方法 (3) 学術雑誌論文著者らの第三者組織・団体との関わり合い/諸活動/COI 開示 ①著者 (author))

投稿論文内容に関連したすべての関わり合い/諸活動/COI 状況に関する詳細情報については、研究者毎に自己申告した ICMJE Disclosure form を提出するとともに資金提供者の役割(Role of funding sources)、貢献者(Contributors)、謝辞(Acknowledgment)を項目立てて論文の中に適切に記載し、著者および協力者の役割と責任を明確にしなければならない(図 5-A)。

改定案 (2025)

投稿論文内容に関連したすべての関わり合い/諸活動/COI 状況に関する詳細情報については、研究者毎に自己申告した ICMJE Disclosure form を提出するとともに資金提供者の役割(Role of funding sources)、貢献者(Contributors)、謝辞(Acknowledgment)を項目立てて論文の中に適切に記載し、著者および協力者の役割と責任を明確にしなければならない(図 5-A)。一方、編集者は電子的手法など著者の負担を考慮した COI 申告書の回収方法を提案するべきである。

1 3-i) 遺伝性疾患関連ワーキンググループ

委員長：野口 昌彦

委員：上田 晃一、小林 眞司、田中 克己、楊井 哲

外部委員：高木紀美代

活動の概要：

「着床前遺伝学的検査：PGT-M」出生前診断に関する承認審査への基本診療科の参加要望に対する対応（日本医学会からの依頼）

1 4) 制度検討委員会

委員長：久保 盾貴

委員：伊藤 奈央、垣淵 正男、櫻井 裕之、清家 志円、田中 克己、
森本 尚樹

活動の概要：

1. 随時、メール会議を行った。
2. 評議員選挙前倒しに伴い、定款第6条の変更を行った（令和6年4月改定）
3. 専門医認定細則の変更を行った（令和6年4月改訂）
 - ・専門医受験資格の停止に関する細則の変更
 - ・軽微な文言の修正
4. 指導医細則の細則の変更を行った（以下の事項を記載）（令和6年7月改訂）
 - ・複数の分野指導医資格取得者は、専門医資格の1回更新を待たずに領域指導医の資格を得ることができること
 - ・分野指導医は、当該分野に関して、プログラムにおける指導医としての役割を果たせること
 - ・特定分野指導医の研修開始時期が、専門医取得後からではなく専門研修終了後となること
5. 定款細則変更に向けて
役員立候補制や評議員選挙前倒しを受けて、関連する定款細則等の規約を変更する予定

1 5) 企画調査委員会

委員長：林 礼人

担当理事：櫻井 裕之

委員：小川 令、荻野 晶弘、小野 真平、岸邊 美幸、北山 晋也
品岡 玲、高木 信介、田邊 毅、田港見布江、成島 三長
宮内 律子

1 5-i) 災害対策ワーキンググループ

委員長：林 礼人

委員：小林 尚史、松本 健吾、柏木 慎也、黒柳 美里、佐藤 孝道、
鈴木 綾乃、本多 孝之、野口 昌彦、大谷 一弘、中川 宏治、
黒川 正人

開催年月日：①2024年4月10日（現地）

②2024年10月18日（現地）災害対策WG

③適宜メール委員会を開催

主な議題：

1. 調査すべきアンケート内容の検討と実施
 - ①専門医前後の医師に対する意識調査
 - ②9つの分野指導医の委員長・委員に対する現状・将来像調査
 - ③各プログラム責任者に対する調査 ⇒ 将来計画委員会と合同とした
2. 災害対策マニュアルのリニューアル
災害対策ワーキンググループを新たに結成し、マニュアルの改訂を行う
3. 「日本形成外科学会の歩み」「形成外科医育機関の歩み」のページ更新

活動の概要：

1. 企画したアンケート調査を Google form を用いて実施した。
 - ①専門医前後の医師に対する意識調査については、形成外科 10 年目までの医師に対し、「大学医局をどう捉えているか」「美容外科に対する意識」について質問を行い、得られた結果の解析を外部に委託し施行した。「大学医局をどう捉えているか」の結果は解析も含め総会にて報告予定。
 - ②9つの分野指導医の委員長・委員に対する現状・将来像調査については、アンケートを実施した。結果集積を行っており、今後解析予定している。
 - ③各プログラム責任者に対する調査 ⇒ 将来計画委員会と合同で施行。
2. 災害対策マニュアルのリニューアル
2024 年元旦に発生した能登半島地震に伴い、東日本大震災を契機に制定された本学会の災害時対策マニュアルの見直しを行うことになった。
新たにワーキンググループを結成し、委員会メンバーを追加。より実用的なマニュアルとするため改定案を検討。改定案と細則の初案を作成した。
3. 「日本形成外科学会の歩み」「形成外科医育機関の歩み」のページ更新
4. 役割や担当分担を行った。今後実施を予定している。

16) データベース委員会

委員長：元村 尚嗣

担当理事：櫻庭 実

委員：赤松 正、秋田 新介、秋元 正宇、朝村 真一、今井 啓道
五石 圭一、近藤 昭二、佐竹 利彦、素輪 善弘、大安 剛裕
冨塚 陽介、塗 隆志、根本 充、羽多野隆治

メール会議：多数

主な議題：

1. アニュアルレポートの作成とブラッシュアップ作業
2. NCD データを用いた多施設共同研究について
3. JOPBS 及び乳がん学会との NCD 連携に関して

活動の概要：

1. 2023 年次アニュアルレポートの公開。
2. 症例登録集計システム「NCD person」を用いた専門医申請。
3. DB 委員会主導レジストリー研究。
4. アニュアルレポートのブラッシュアップ作業
5. 2025 年 4 月の総会における DB 委員会主催セミナーの準備。
6. JOPBS 及び乳がん学会との NCD 連携に向けての準備。

17) 将来計画委員会

委員長：垣淵 正男

担当理事：櫻井 裕之

委員：東 隆一、岡本 年弘、岸邊 美幸、西村 礼司、馬場 香子
林 礼人、林田 健志、本多 孝之、水野 博司、力丸 英明

開催年月日：：

①2024年4月10日（総会期間中）

②2024年4月15日～5月9日（メール委員会）

③2024年7月20日～25日（メール委員会）

④2024年12月27日～2025年1月11日（メール委員会）

活動の概要：

1. 専攻医の動向と若手医師の意識に関する企画調査委員会との合同アンケート調査
および同テーマでの委員会企画シンポジウムの計画
 - ・アンケート調査結果を踏まえて、第68回日本形成外科学会総会にて「専門研修プログラムに関する若手医師の動向と意識～医局の役割を含めて～」を開催予定
2. 前期委員会企画シンポジウムの論文化
 - ・第66回日本形成外科学会総会での「アピアランス〈問題〉によるQOL低下への心理社会的支援 ～手術だけでは救えない患者への対応～」の内容を日本形成外科学会誌（Vol.45 2025 No.1）に掲載
3. 医師の働き方改革におけるC-2水準審査
審査委員：垣淵正男（兵庫医科大学）、久徳茂雄先生（市立奈良病院）、
野口昌彦先生（長野県立こども病院）、
安永能周先生（静岡県立がんセンター）
審査委員会：第1回令和6年7月23日（オンライン）
第2回令和6年10月18日（書面開催）
4. 役員、会長選挙の立候補制によるweb投票
 - ・前回委託した東京コンピュータサービスとの打ち合わせ
 - ・立候補者数が定数を上回った場合は2025年4月15日の評議員会でのweb投票を予定

18) 医療安全推進委員会

委員長：鳥山 和宏

委員：田中 克己、田港見布江、林田 健志、増口 信一、四ッ柳高敏

開催年月日：適宜 e-mail 委員会

主な議題：

1. 厚労省よりの通達に関する事案
2. 薬剤の供給停止に関する事案

活動の概要：

1. 安定確保医薬品の見直しに係る候補品目の評価に関して、エクラープラスターを提案した。
2. 事例検討に係る外部専門家の推薦を行った。

3. 日本在宅医療連合学会の、在宅医療における「局所陰圧閉鎖療法」の適正使用に係る適正使用指針について審議したが、特別なコメントはなかった。
4. ウロナーゼ有効期限延長について会員に周知した。

1 9) 皮膚腫瘍外科分野指導医認定委員会

委員長：古川 洋志

担当理事：小山 明彦

委員：荻野 晶弘、加藤 久和、木村 中、桑原 理充、田中颯太郎
野村 正、林 礼人、林 利彦、藤岡 正樹、藤原 雅雄
前田 拓、牧口 貴哉、森 秀樹、吉龍 澄子、

活動の概要：

1. 第28回教育セミナー開催

日時：2024年4月11日(木) 8:00~9:00

第67回日本形成外科総会・学術集会会場 神戸国際会議場 第5会場

司会：愛知医科大学 形成外科 古川 洋志

1) 「皮膚悪性腫瘍の治療の考え方：診断、切除および再建について」

旭川医科大学 形成外科 林 利彦先生

2) 「臨床診断と病理診断一より正確な診断を目指して」

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 森 秀樹先生

2. 皮膚腫瘍外科分野指導医認定審査

①書類審査会 日時：2024年8月21日(水) 19:00~Zoom

②口頭試問

日時：2024年10/16(水) 第33回日本形成外科学会基礎学術集会前日

13:00~14:00 委員会 (会場：ヒルトン東京お台場 1階 小宴会場「萩」)

14:00~15:00 口頭試問

15:00~16:00 合否判定会議

10名受験 10名合格

3. 第29回教育セミナー開催

日時：2024年10月18日(金) 14:20~15:20

会場：ヒルトン東京お台場 第33回日本形成外科学会基礎学術集会第5会場

司会：愛知医科大学 形成外科 古川 洋志

1) 「最新の皮膚悪性腫瘍治療指針：

NCCN・皮膚悪性腫瘍診療ガイドラインを読み解く」

北海道大学医学部 形成外科 前田 拓先生

2) 「会陰部皮膚悪性腫瘍後広範欠損に対する再建のストラテジー」

群馬大学医学部附属病院 形成外科 牧口 貴哉先生

4. 第11回皮膚腫瘍外科分野指導医シンポジウム開催

日時：2024年10月17日(木) 15:50~17:20

会場：ヒルトン東京お台場 第33回日本形成外科学会基礎学術集会

司会 古川 洋志

Keynote speech

「皮膚腫瘍外科分野指導医になろう！」

愛知医科大学医学部 形成外科 古川 洋志

1) 怪しいと思ったら～正しく診断し適切に評価しよう

奈良県立医科大学附属病院 形成外科 桑原 理充先生

2) ガイドライン等を参考に過不足のない切除を

国立病院機構長崎医療センター 形成外科 藤岡 正樹先生

3) 病理の伝票にどう書こう？正しい検体の提出できますか？

国立病院機構大阪医療センター 形成外科 吉龍 澄子先生

4) 皮膚腫瘍（皮膚がん）切除後の再建－植皮か皮弁か－私の経験

函館厚生院函館中央病院 形成外科 木村 中先生

5) 予後のお話は？最新の免疫治療の適応を知っておこう

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 森 秀樹先生

5. 皮膚腫瘍外科分野指導医認定試験についてのご案内

2024年12月20日付 日形会誌 Vol144 Vol12 会告

6. 皮膚腫瘍外科分野指導医 更新審査

2025年3月予定

20) 小児形成外科分野指導医認定委員会

委員長：野口 昌彦

委員：久徳 茂雄、小林 眞司、齊藤 晋、佐々木 薫、杉本 孝之
高木 信介、時岡 一幸、永竿 智久、羽多野隆治、藤原 雅雄
本多 孝之、渡辺あずさ

開催年月日：①2024年9月27日（Web会議）

*その他適宜メール委員会

活動の内容：

1. 2024年度小児形成外科分野指導医認定審査（第8回認定審査）

①申請受付期間 2024年7月1日～7月31日

②書類審査会 一次審査2024年8月26日～9月2日

二次審査2024年9月6日～9月10日

申請者4名全てで書類審査合格となった。

③試験問題選定 2024年9月27日 Web会議

④筆記試験 2024年10月17日

第33回日本形成外科基礎学術集会会場 ヒルトンお台場（東京）

にて実施。

本年度書類審査合格者4名が筆記試験を受験し、4名ともに合格基準を満たし合格となった。

2. 2025年度小児形成外科分野指導医認定審査

第9回認定審査の予定は以下の通り。

① 4月号で公示予定

② 申請受付期間 2025年7月1日～7月31日

③ 筆記試験 2025年10月16日・17日のいずれか

第34回日本形成外科学会基礎学術集会（鹿児島）の会場にて実施予定

3. 小児形成外科分野指導医教育セミナーの開催

第13回教育セミナー

2024年4月10日(水) 16:10-17:10

第67回日本形成外科総会・学術集会会場

神戸国際会議場(神戸) 第5会場

テーマ: 母斑・腫瘍 神経線維腫症1型(NF1)の基礎と新たな治療戦略

講師: 慶應義塾大学医学部小児科学教室 武内俊樹先生

演題名: 「NF1の病態理解と分子標的薬による治療」

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション科 西田 佳弘 先生

演題名: 「叢状神経線維腫に対するMDT診療の重要性」

セミナー受講者115名(現地受講者24名、オンデマンド受講者91名)

第14回教育セミナー

2024年10月17日(木) 16:00-17:00

第33回日本形成外科基礎学術集会会場

ヒルトンお台場 第5会場

テーマ: クラニオ

講師: 大阪市立総合医療センター 形成外科 坂原 大亮

演題名: 「クラニオフィシャルサージェリーの基礎～頭蓋縫合早期癒合を中心に～」

講師: 慶應義塾大学医学部小児科学教室・

慶應義塾大学病院小児頭蓋顔面センター 武内俊樹

演題名: 「頭蓋縫合早期癒合症の分子機構と神経発達」

セミナー受講者77名(現地受講者33名、オンデマンド受講者44名)

第15回教育セミナー

2025年4月16日(水)、14:20-15:20

講師: Department of Surgery, Northwestern University Feinberg School of
Medicine/Division of Pediatric Plastic Surgery, Ann & Robert H.
Lurie Children's Hospital of Chicago

山田 朗

「海外招聘講演2: My current practice of Pediatric Reconstructive
Plastic Surgery in Chicago, USA」

第68回日本形成外科総会・学術集会 ホテルニューオータニ(東京)

第16回教育セミナー

2025年4月16日(水)、15:30-17:00

「シンポジウム2: 少子化だからこそ小児形成外科！」

4. 第3回小児形成外科分野指導医更新審査

1) 申請受付期間 2025年1月1日～1月31日

対象者23名の内、申請者は17名であった。

2) 審査会(メール審査) 2025年2月28日

承認17名, 留保承認2名, 再審査0名

5. 小児外科系関連学会協議会活動

・小児慢性特疾病に関する新規の疾病追加に関して

(トリーチャーコリンズ症候群が追加)

- ・こども家庭庁による1ヶ月児、5ヶ月児健診の実施
(新規検査項目の検討)

- ・ラパリムスのTDM検査に関する保険収載要望意見の提出

2 1) 再建・マイクロサージャリー分野指導医認定委員会

委員長：中川 雅裕

担当理事：櫻庭 実

委員：伊東 大、黒木 知明、清水 史明、高須 啓之、田中颯太郎
津下 到、寺尾 保信、鳥谷部 荘八、中井 國博、林 利彦
日原 正勝、山本 直人

開催年月日：① 2024年11月27日 *その他適宜メール委員会

活動の内容：

1. 2024年度再建・マイクロサージャリー分野指導医認定審査
(第6回認定審査)

口頭試問試験 2024年11月27日

第51回日本マイクロサージャリー学会学術集会の前日に
奈良県コンベンションセンター(奈良市)にて行われた。

申請者16名、本年度書類合格者16名が口頭試問試験を受験した。16名全員が
合格基準を満たし合格となった。

2. 2025年度再建・マイクロサージャリー分野指導医認定審査
第6回認定審査の予定は以下の通り。4月号で公示予定。

①申請受付期間 2025年7月20日～8月31日(予定)

②口頭試問試験 2025年11月26日(東京 予定)

第52回日本マイクロサージャリー学会学術集会(東京) 周辺の会場

3. 教育セミナーについて

①第10回教育セミナー

2024年4月11日(木) 15:10- 16:10

第67回日本形成外科学会総会・学術集会会場

1. 「切断指再接着の基本知識と生着率向上への要点」

講師：山本 直人先生

2. 「皮膚腫瘍切除後の再建」 講師：高須 啓之先生

②第11回教育セミナー

2024年10月18日(金) 15:30- 16:30

第33回日本形成外科学会基礎学術集会会場

1. 「下顎再建を行うための基礎知識」

講師：林 利彦先生

2. 「形成外科医が知っておくべき重度四肢外傷」

講師：鳥谷部 荘八先生

4. その他の審議事項

①第1回資格更新審査関連

2019年度に分野指導医資格を得た466名が更新となる

書類提出期間 2025年1月1日(水)～2025年1月31日(金)

申請書類の変更

(1)更新に必要な業績点数の追加

再建・マイクロサージャリー領域に関する国内学会の参加 2点

再建・マイクロサージャリー領域に関する国内学会の発表 2点

(2)診療実績報告書の追加

1年20例以上5年分の診療実績報告が必要だが

「対象5年間のうち、原則10例以上を「遊離皮弁」または「再接着」の診療実績にてご報告ください。」を追加した。

2025年3月18日 委員会開催し466名の書類審査

2.2) レーザー分野指導医認定委員会

委員長：河野 太郎

担当理事：覚道奈津子

委員：大城 貴史、王丸 陽光、西村 礼司、野村 正、羽多野隆治
古川 洋志、堀 圭二郎、百澤 明、若槻 華子

開催年月日：適宜メール委員会を開催

活動の内容：

1. 教育セミナーについて

第5回教育セミナー

2024年4月12日(金) 14:55～15:55

第67回日本形成外科学会総会・学術集会

神戸ポートピアホテル 第5会場

1. レーザー基礎 講師：河野 太郎

2. レーザー臨床 講師：古川 洋志

第6回教育セミナー

2024年10月18日(金) 13:20～14:20

第33回日本形成外科学会基礎学術集会

ヒルトン東京お台場

1. レーザー基礎 講師：王丸 陽光

2. レーザー臨床 講師：河野 太郎

2. 認定審査

第4回認定審査

申請受付期間 6月1日～7月31日

筆記試験日 10月17日

第33回日本形成外科学会基礎学術集会

レーザー指導医試験 ヒルトン東京お台場1階小宴会場「椿」「梅」

新規申請者合格：4名

3. 資格更新審査

資格更新審査を作成し、2024年5月20日に公示

資格取得年度から5年間の業績にて申請

2022年度資格取得者の場合、2022年1月1日より2026年12月31日まで

4. その他

レーザー分野指導医認定委員会企画シンポジウム

2025年4月18日（金）15:00～17:00

第67回日本形成外科学会総会・学術集会

とことんシミのレーザー治療 座長：河野太郎 覚道奈津子

1. レーザー基礎：河野 太郎

2. シンポジスト：下条 裕、今川孝太郎、王丸陽光、原 かや
奥 謙太郎 中田 元子

2 3) キャリア支援委員会

委員長：覚道奈津子

委員：伊藤 史子、岡本 年弘、垣淵 正男、檜村 勉、片平 次郎
岸邊 美幸、小宮 貴子、佐々木 薫、田中 里佳、辻 依子
寺師 浩人、永松 将吾、馬場 香子、三川 信之、森本 尚樹
若槻 華子、渡辺あずさ、渡邊 理子

活動の内容：

1. キャリア支援委員会企画シンポジウムについて

第68回日本形成外科学会・学術集會会期中

2025年4月17日（木）

シンポジウム 14:10～15:10

その後キャリア相談会 開催

2. キャリア支援アンケート調査

「形成外科のキャリアと資格についてのアンケート」を実施、以下の2本の論文を作成し、日形会誌に投稿済み

「形成外科専門医・指導医資格制度の現状と課題」

「形成外科医のキャリアとライフイベントに関する多面的課題」

3. 学術集会におけるオンデマンド配信費用の学会負担に関する要望

アンケート結果によると、回答者の92%以上がセミナー・講習会のオンデマンド配信を希望。特に、子育てや介護などの事情で現地参加が難しい会員にとって、キャリア継続や学習機会の確保に重要な手段であることが明らかになった。

このため、学会の分野指導医・専門医の取得および更新のための講習やセミナーについて、オンデマンド/e-learning 配信を継続的に実施できるよう、費用を学会が負担することを提案する。

4. 形成外科医のキャリアロールモデルを紹介するHP作成

日本形成外科学会の公式HP内に作成予定。

原稿は、全国の評議員の皆様を中心に、自薦・他薦によりご提供いただく予定。

2 4) ブレストインプラントガイドライン管理委員会

委員長：森 弘樹

担当理事：久保 盾貴

委員：梅澤 裕己、窪田 吉孝、小宮 貴子、佐武 利彦、田港見布江
寺尾 保信、富田 興一、牧口 貴哉、三鍋 俊春

開催年月日：適宜 e-mail 委員会

活動の概要

- 2024年度の講習会はe-learningにて開催した。受講は57名であった。
 - ・使用要件基準（ガイドライン）の概略 森 弘樹（東京医科歯科大学）
 - ・製品紹介・インフォームドコンセントについて アラガン・ジャパン株式会社
 - ・Sientra プレスト・インプラント 製品説明 グンゼメディカル株式会社
 - ・Motiva プレスト・インプラント 製品説明 PRSS. Japan 株式会社
 - ・外傷・先天異常に対する使用とBIA-ALCLの概略 白石 知大（聖マリアンナ医科大学）
 - ・乳房増大術 丹羽 幸司（ナグモクリニック大阪）
- 症例登録、合併症報告、施設更新、医師更新システム現況

・登録医師管理システム（2025年3月31日現在）

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国	四国	九州 沖縄	合計
医師数	4	5	83	6	11	32	10	6	23	180

・実施施設管理システム（2025年3月31日現在）

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国	四国	九州 沖縄	合計
施設数	4	5	43	4	5	15	5	5	10	96

・2024年症例登録、合併症報告（エキスパンダー） ※審査中の為、追加予定

	症例数	合併症 件数	合併症詳細				転帰 抜去・入替
			感染	血腫・出血・ 漿液腫	壊死・創 部離開	その他（被膜拘縮、位置 異常、露出、疼痛など）	
Allergan	17	0	0	0	0	0	0
Motiva	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	0	0	0	0	0	0

・2024年症例登録、合併症報告（インプラント） ※審査中の為、追加予定

	症例数	合併症 件数	合併症詳細				転帰 抜去・入替
			感染	血腫・出血・ 漿液腫	壊死・創 部離開	その他（被膜拘縮、位置 異常、露出、疼痛など）	
Allergan	74	2	0	2	0	0	0
Sientra	28	0	0	0	0	0	0
Motiva	92	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	194	2	0	2	0	0	0

3. 乳房再建に関する市民公開講座

再建マイクロ分野指導医委員会、キャンペーンワーキンググループとの3委員会合同で、乳房再建の実施率が低い4県（岩手、大分、青森、鳥取）で実施した。

- ・岩手県 7/21 岩手医科大学形成外科 参加 23名
- ・大分県 8/18 大分大学形成外科 参加 25名

- ・青森県 10/27 弘前大学形成外科 参加 31 名
 - ・鳥取県 3/20 鳥取大学形成外科 参加登録 29 名
- 保守的なエリアで聴講者は少なめであったが、感謝の声や、連携の手がかりになったとの声も聞かれ、今後の好影響が期待できる。

2 5) 美容医療に関する委員会

委員長：原岡 剛一

担当理事：小室 裕造

委員：井上 義一、尾崎 峰、勝部 元紀、門松 香一、倉片 優
黒木 知明、櫻井 裕之、清水 雄介、武田 啓、水野 博司
力丸 英明

開催年月日①2024年4月11日 対面会議（第67回日本形成外科学会総会・学術集會会期中）、②適宜 e-mail 委員会

主な議題：

1. 美容外科の啓蒙
2. 美容外科教育体制の確立に向けた準備

活動の概要：

1. 美容外科の啓蒙

- ① 第47回日本美容外科学会 JSAPS 総会・第151回学術集會における美容外科市民公開講座「患者さんと医師と一緒に考える美容外科医の選び方」の共催。
- ② 第68回日本形成外科学会総会・学術集會における美容外科市民公開講座「医療ツーリズムって本当に大丈夫？～医療ツーリズムから、美容外科を受診する注意点を考える～」の委員会企画としての主催およびオンライン配信（日本美容外科学会 JSAPS および日本美容医療協会共催）

2. 美容外科教育体制の確立に向けた準備

- ①全国医育機関に向けての美容外科教育の現場アンケート調査を実施した。
結果については、第68回日本形成外科学会総会・学術集會における下記委員会企画において発表する。
- ② 第68回日本形成外科学会総会・学術集會において国際委員会と美容医療に関する委員会の合同企画として、国際セッションを開催する。まず各国の美容外科教育の現状、取り組みを把握していく。

2 6) 動画コンテンツ検討委員会

委員長：三川 信之

委員：東 隆一、小野 真平、梶田 大樹、片平 次郎、島田 賢一
永松 将吾、橋川 和信、橋本 一郎、樋口 慎一、松田 健
松峯 元、松本 洋、山中 浩気

開催年月日：2024年6月6日 18:00～19:00 WEB 会議

活動の概要：

1. 日形会ビデオライブラリーの投稿状況
掲載動画は現在計 79 本（審査中：3 本）
この1年間で16本増加

(手術手技学会からの投稿 10 本、総会のプロモーションビデオを 2 本削除)

2. 動画投稿推進策、特に投稿者へのインセンティブについて
専門医資格申請・更新の点数を付与する（機構より承認可能との回答）
 - ・生涯教育委員会、理事会にて1点付与を承認
 - ・全ての動画投稿に適応
 - ・投稿・掲載年度より5年以内なら有効（論文や学会発表と同様）
 - ・来年度より実施予定
3. ビデオライブラリー再生数調査の活用について(案)
 - ・再生回数や再生時間で半年ごとと年間で表彰
(動画掲載の時期に差異があるため、閲覧可能からの期間とすることが必要)
4. 形成外科手術手技学会における日形会とのコラボ企画について
第 30 回形成外科手術手技学会（2025 年 3 月 1 日）での日形会との共同企画
 - ・ビデオ教育シンポジウム(基本技術、美容外科)
5. ビデオライブラリー項目の整理について
項目の整理：今後、委員内で作業予定
6. 委員会企画：第 68 回日本形成外科学会総会(2025 年 4 月 16 日～18 日)における
動画編集ハンズオンセミナー開催予定
 - ・目的：形成外科医が手術動画を効果的に編集するスキルを身につけること、ビデオライブラリーへの投稿推進
 - ・開催日時（計 4 コマ）：(1 コマあたり 10 人、座学 30 分, 実習 60 分の計 90 分)
 - ・Mac 編：4 月 16 日（水）10:10～11:40, 4 月 17 日（木）9:30～11:00
 - ・Win 編：4 月 16 日（水）13:10～14:40, 4 月 17 日（木）11:10～12:40
7. その他
 - ・第 30 回形成外科手術手技学会（2025 年 3 月 1 日）に発表演題の投稿依頼

2 7) CST 委員会（下線は代表委員、兼 日本外科学会 CST 推進委員会委員）

委員長：三川 信之

委員：秋田 新介、井上 義一、今井 啓道、今西 宣晶、葛城 遼平、
清水 史明、津下 到、寺師 浩人、中川 雅裕、沼尻 敏明、
松本 洋、三鍋 俊春、元村 尚嗣

活動の概要：

1. 2024 年に日形会に申請のあった CST

東京医大 2 件、札幌医大 1 件、大阪公立大 1 件の計 4 件
全て承認

2. 第 33 回日形会基礎学術集会(2024 年 10 月 18 日)における委員会企画シンポジウム「ガイドライン発行後の形成外科領域 CST の全レビューと形成外科が進むべき CST の方向性」について

座長：三鍋俊春 先生（日産厚生会玉川病院形成外科）
三川信之（千葉大学大学院医学研究院形成外科学）

-
1. 慶應大学での CST と形成外科領域における問題点：
今西宣晶 先生（慶應義塾大学医学部形成外科）

2. ここまで来た日本の形成外科領域の CST

①ガイドライン発行後の形成外科領域 CST の全レビュー：

津下 到 先生（京都大学大学院医学研究科形成外科学）

②CST 報告書の書き方について：

秋田新介 先生（千葉大学医学部形成外科）

③形成外科が進むべき CST の方向性：

今井啓道先生（東北大学医学系研究科形成外科学）

3. 忘れてはいけない倫理的側面 —CST 参加者心得—（ビデオ講演）：

鈴木崇根 先生（千葉大学大学院医学研究院環境生命医学）

・本内容を日形会ビデオライブラリーに掲載

・本内容の一部を論文化

津下 到、三川信之、ほか：形成外科 Cadaver Surgical Training の現状：公募型開催と学会助成金の必要性（日形会誌：2025. in press）

3. CST 推進委員会・CST 事業の法人設立準備委員会

(1) 令和 6 年度第 2 回 CST 推進委員会・CST 事業の法人設立準備委員会（合同開催）

日時：令和 6 年 12 月 11 日（水）17:00～18:30

A) 本年度の CST 報告（報告・審議）（CST 推進委員会）

形成外科領域の CST 報告書を代表委員 4 人でレビューし、結果を報告

申請総数：29 件

承認：26 件（89.7%）

条件付き承認：3 件（10.3%）

（昨年：非承認 6/18 件（33.3%））

B) CST 事業の新法人設立の件

C) その他

(2) 令和 6 年度第 3 回 CST 推進委員会・第 3 回 CST 事業の法人設立準備委員会

日時：令和 7 年 1 月 14 日（火）17 時 00 分～18 時 50 分

A) 本年度の CST 報告の件（各領域のレビュー結果報告）

B) 美容外科医による不適切行為の件

・日形会 CST 委員長 三川信之より日形会の見解について報告を行った。

・各学会や組織（厚労省、文科省、篤志解剖全国連合会、日本解剖学会、日本外科学会など）からは日形会にはプロフェッショナルオートノミーに基づいた行動が要請

C) CST 事業の新法人設立について

(3) 令和 7 年度第 1 回 CST 推進委員会・第 4 回 CST 事業の法人設立準備委員会

日時：令和 7 年未定

A) 各大学への CST レビュー結果の通知および追加照会の件

B) 美容外科医による不適切行為に対する声明の件

日形会特別調査委員会での調査結果と措置、再発予防対策を報告予定

C) CST 事業の新法人設立の件

4. 日本解剖学会 寺田理事長より日形会へ要望あり（2025 年 1 月 30 日付）

日本形成外科学会理事 三川 信之 先生：

昨年末の美容外科医によるご遺体不適切取扱い事案につき、お願いがあり波多野委員長を介してご連絡させていただきます。日本美容外科学会による再発防止のための具体的な対応はまだ明らかではありませんが、貴学会では事実確認を元にした対応と再発防止策の策定を企図して調査中と伺っております。解剖学会としましては、本件に関し献体関係者のご納得が得られませんと、CSTだけでなく解剖学教育・研究にも大きな悪影響が及ぶ可能性があることを危惧しております。どうか献体関係者にご理解をいただけるような形での対応策の策定をお願い申し上げます。

日本解剖学会理事長 寺田 純雄

5. CSTでの不祥事に対する予防策について（委員会で検討中）

(1) 倫理面のビデオ作成し、参加者の閲覧を義務化または強く推奨

1. CSTにおける倫理面の重要性を説くビデオを作成する（必要に応じて解剖学の先生に依頼）。
2. 国内・海外で開催されるCSTに参加する日形会員（実施施設者も含む）はそのビデオ講習閲覧を必須（義務）とする、あるいは強く推奨する。
3. CST参加申込時にビデオ講習修了書を提出（呈示）してもらう。
4. 講習修了書の有効期間は*5年間とする。

* 4. の有効期間に関しては、原案「5年間」で良い（3名）、「都度閲覧受講必要」とする（2名）、「一度受講で可」（1名）との意見あり。

(2) その他の予防策

- ・講師を他科や海外から呼ぶ場合、実施責任者が講師陣を管理する。
- ・開催前の報告書と開催後実施報告書（簡単なもの）を学会に提出してもらう。
→日形会がCST開催状況を把握する手段となる。
- ・日形会員やJSAPS会員のみならず、国内外問わずCSTに参加する形成外科医・美容外科医が閲覧できる倫理的動画を日形会ホームページに掲載。

27-i) 顔面移植 WG

委員長：橋川 和信

委員：石田 勝大、井上 義一、櫻庭 実、清水 史明、根本 仁
林 礼人、原岡 剛一、元村 尚嗣

活動の概要：

- ・前年度から引き続き、同種顔面移植指針の執筆・編集作業を行っている
- ・第68回形成外科学会総会の委員会企画シンポジウムで報告予定

28) 形成外科ロボット手術検討委員会

委員長：上村 哲司

委員：赤松 正、浅野 裕子、井上 義一、梅本 泰孝、大河内真之
小野 真平、榎村 勉、加藤 久和、門田 英輝、金山 幸司
岸 慶太、北 幸紘、坂原 大亮、佐武 利彦、素輪 善弘
高成 啓介、田代 絢亮、堂後 京子、丹羽 幸司、沼尻 敏明
根本 仁、橋川 和信、東野 琢也、松村 一、三上 太郎
宮本 慎平、村井 信幸、村木 健二、森 裕晃、矢澤 真樹
矢野 智之、山下 修二、山本 直人、吉田 周平
関堂 充（相談役）、元村 尚嗣（相談役）

開催年月日：

- ①2024年4月 12日 全体会議（現地開催）
- ②2024年10月18日 全体会議（現地開催）
- ③2025年2月25日 制度設計委員会（オンライン開催）

その他、適宜メール会議

主な議題：

1. 「形成外科ロボット手術検討委員会」の活動報告
2. 形成外科ロボット手術検討委員会が企業と交わす覚書について

活動の概要：

1. 制度設計委員会（上村委員長）
2. 教育プログラム作成委員会（浅野委員長）
3. ガイドライン作成委員会（橋川委員長）
4. 学術プログラム作成委員会（榎村委員長）
5. 手術支援ロボット開発推進委員会（橋川委員長）
6. その他の先進技術推進委員会（小野委員長）
7. 薬事保険委員会（佐武委員長）
8. レジストリ委員会（山本委員長）
9. 手術テキスト作成委員会（東野委員長）

本年度も、上記9つの小委員会に分かれ活動を行った。

- 1) 第67回日本形成外科学会総会（2024年4月26日）で、委員会企画で「未来を託す Robotic Plastic Surgery」の開催を行った。

特別講演 タイトル：一般・消化器外科領域におけるロボット支援手術の現状と将来展望

藤田医科大学医学部 先端ロボット・内視鏡手術学講座

主任教授 宇山一朗先生

- 2) 第33回日本形成外科学会基礎学術集会（2024.10.18）で委員会企画を行った。

タイトル：Robotic surgery は、乳房再建手術に還元されるか！？

- 3) 第37回日本内視鏡外科学会総会（2024/12/6）で、形成外科の精密手術を極める - 現状と将来展望-の企画を行った。

- 4) 第30回日本形成外科学会手術手技学会（2025.3.1）で委員会企画を行った。タイトル：ロボット・内視鏡手術の未来を拓く先進技術を探る

2024/8/28にda Vinci Xi/X サージカルシステムが乳腺外科（乳輪温存乳房切除術に限る）における適応拡大の薬事承認を受けている。今後、乳房再建手術へのロボ

ット手術の適応拡大を見据え、対応していく。

形成外科ロボット手術検討委員会が企業と交わす覚書を下記3社と行った。

- ・F MED 社
- ・ソニーグループ社
- ・グンゼメディカル社

29) 専門医制度委員会

委員長：貴志 和生

委員：岡崎 睦、奥本 隆行、門田 英輝、久保 盾貴、小室 裕造
櫻井 裕之、野口 昌彦、橋本 一郎、森本 尚樹

開催年月日：2022年3月10日 Zoom

主な議題：

1. 専門医3回以上の更新者への対応
2. 共通講習Bの開始への対応
3. 専門医機構新シーリング案に対する意見

活動の概要：下記の方針が確認された。

1. 臨床実績の提出とe-testの導入の並列で開始する。
2. 「多様な地域」は形成外科医充足率0.8以下の施設とする。
3. 意見をメールで求めて、委員長がまとめて機構に提出。